MARGIN

WASH ROOM

金具の取り付け方

ブラケット金具の取り付け方 ・・・・・・・・・・・・・・・・・ P. 27

金具の取り付け用型紙

型紙① ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P. 28
型紙 D ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P. 29
型紙 E ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P. 30
型紙 F ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P. 31
型紙 G ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P. 32
型紙 H ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P. 33

その他アイテム取り付け方

カウンター天板 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P. 22
見切り材 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P. 17
フィラー（フロアタイプ / フィットスタイル） ・・・・・・・ P. 23-24
フィラー（フロアタイプ / カウンタースタイル） ・・・・・・ P. 25
フィラー（フロートタイプ / フィットスタイル） ・・・・・・ P. 26

給排水位置図

洗面ボウル：シームレスアンダー A1 ・・・・・・・・・・・・・ P. 34
洗面ボウル：ベッセル J1 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P. 35
洗面ボウル：ハーフベッセル（弓型）Y1 ・・・・・・・・・・・ P. 36
洗面ボウル：ハーフベッセル（角型）N1 ・・・・・・・・・・・ P. 37
洗面ボウル：ハーフベッセル（丸型）N2 ・・・・・・・・・・・ P. 38

施工手順書（アイテム別）

収納付きミラー
P. 2

ミラー／
アンダーミラー
P. 3

LED 付きミラー
P. 4

丸ミラー／
変形ミラー
P. 5

サポートシェルフ
P. 11

アンダーシェルフ
（幅 750 ～ 1000）
P. 9

アンダーシェルフ
（幅 1200 ～ 1800）
P. 10

洗面ボウル
▸ シームレスアンダー A1 ―― P. 18
▸ ベッセル J1 ―― P. 19
▸ ハーフベッセル（弓型）Y1 ―― P. 20
▸ ハーフベッセル（角型）N1 ―― P. 21
▸ ハーフベッセル（丸型）N2 ―― P. 21

フロートタイプキャビネット
（幅 749 ～ 999）
P. 6

フロートタイプキャビネット
（幅 1198 ～ 1798）
P. 7

サイド BOX
P. 8

フロアタイプキャビネット
（幅 749 ／ 824 ／ 899 ／ 999）
P. 12

フロアタイプキャビネット
（幅 1198 ／ 1348）
P. 13

トールキャビネット
（ベーシック）
P. 14

トールキャビネット
（サイドオープン）
P.15

トールキャビネット
（ボトムオープン）
P.16

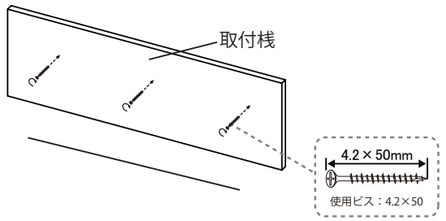
設置手順（取付位置寸法図）　（wash room 収納付きミラー）

※施工は必ず２名以上で行ってください。

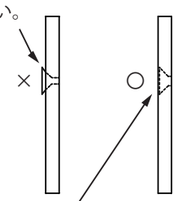
下地に 12 ミリ厚以上の JAS 規格相当合板が必要です。下地は商品から上下左右 50mm 以上はみ出して必要です。

1. 取付桟の設置詳細

■壁に取付桟を壁付け用ビスで固定して下さい。（3 ヶ所）
取付桟が水平になっているかの確認を行って下さい。
ビスは頭が飛び出さないようにしっかりと打込んで下さい。

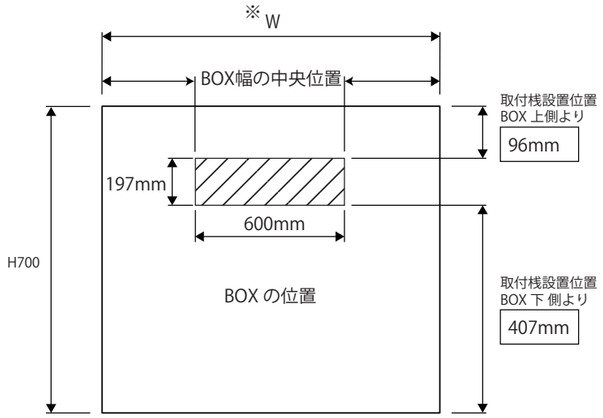


取付桟から
飛び出さないようにして下さい。



取付桟に
少し食い込ませるようにして下さい。

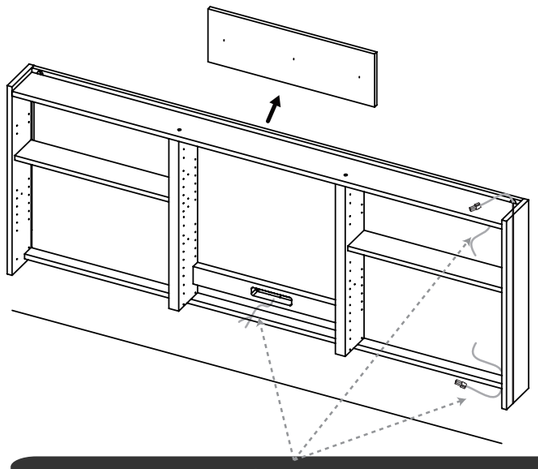
＜取付桟取付位置寸法＞



※W（商品サイズ）	
W1798タイプ	W1198タイプ
W1648タイプ	W998タイプ
W1498タイプ	W898タイプ
W1348タイプ	W749タイプ

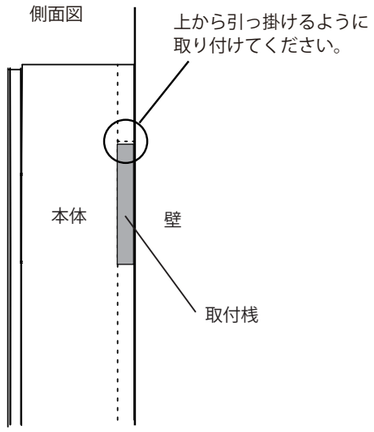
2. 本体の設置詳細

■扉を取り外してから本体裏面の上部の凹み部分に取付桟を引っ掛けます。なるべく取付桟が本体の真ん中になるようにしてください。
（商品サイズによって図が異なります。）※落下しないように必ず押さえながらビスで固定して下さい。

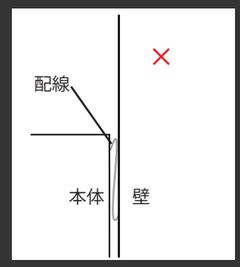


コンセント付き
コンセント、LED付き

設置前に配線の
事前準備が必要です。
詳細は別紙を参照して下さい。



⚠ 警告　設置時にコンセントやLEDの配線を
挟まないように設置して下さい。
故障、感電、火災の原因になります。

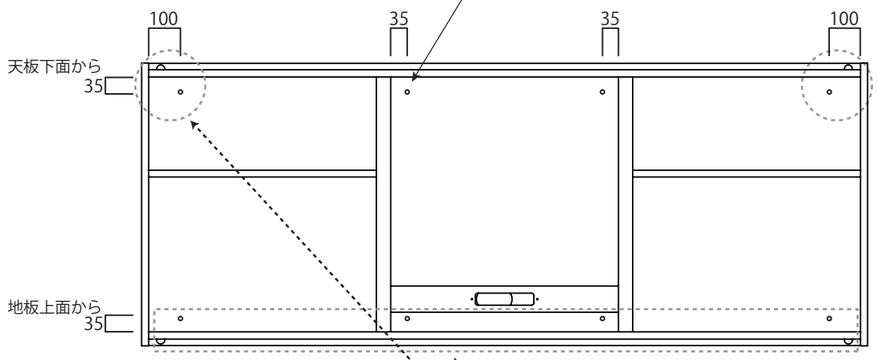


3. 本体の壁取り付けビス取付位置寸法

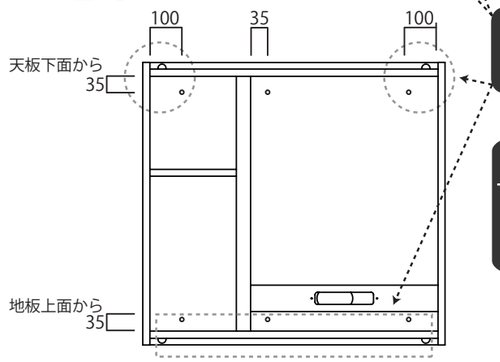
■本体背板と壁面の芯材がある位置に壁取り付け用ビスと連結ワッシャーで固定して下さい。
最後にキャップを取り付けて下さい。
（商品サイズによって図や個数が異なります。）

連結ワッシャーにビスを通して取付け、最後にキャップを取り付けます。

・W1800～900　3 間口タイプ
（上下各 4 ヶ所）



・W750　2 間口タイプ
（上下各 3 ヶ所）



⚠ 警告　ビスで配線を傷つけないように
LED付、コンセント付のものは取り付けビス位置を必ず守って下さい。
故障、感電、火災の原因になります。

⚠ 注意

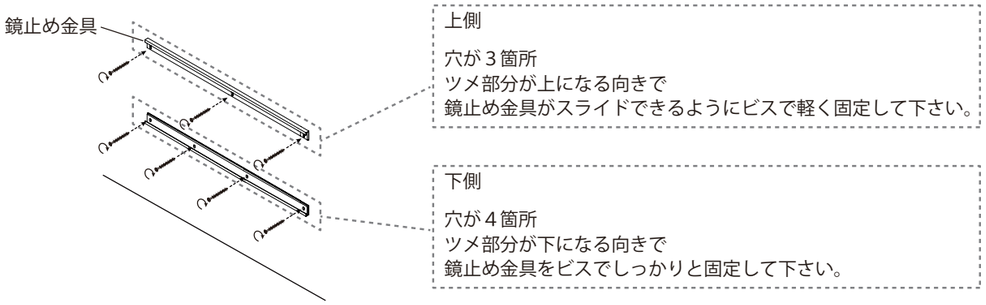
位置を正確に取り付けて下さい。
位置がずれるとビスのキャップや棚板が設置できません。

設置手順　（wash room ミラー）

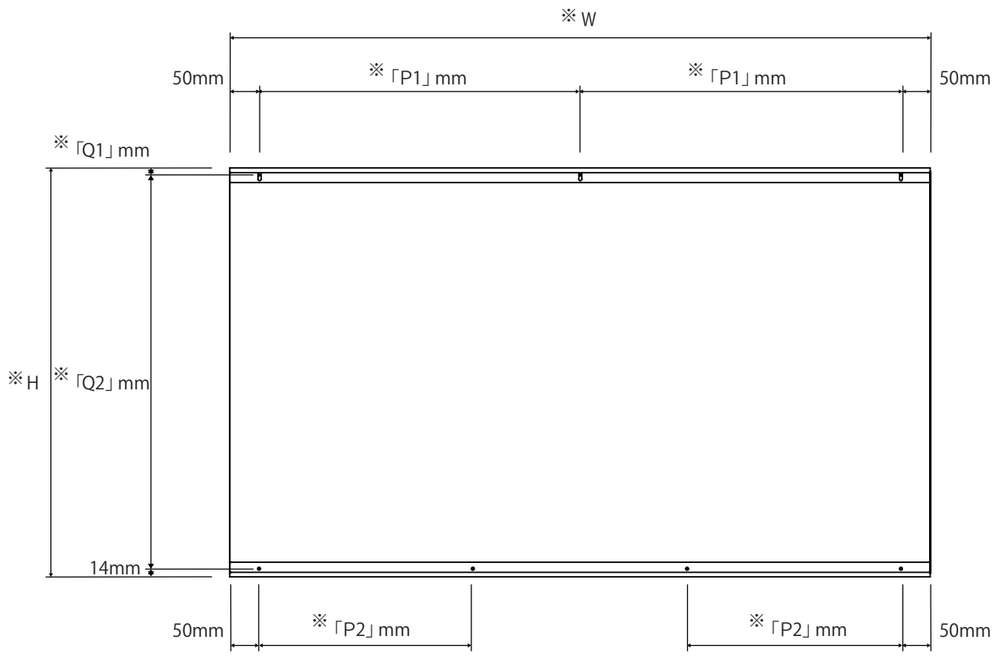
※施工は必ず２名以上で行ってください。

下地に 12 ミリ厚以上の JAS 規格相当合板が必要です。下地は上下左右 50mm 以上はみ出して必要です。

1. 壁に鏡止め金具をビスで取り付けます。



■鏡止め金具固定ビス取付位置寸法詳細

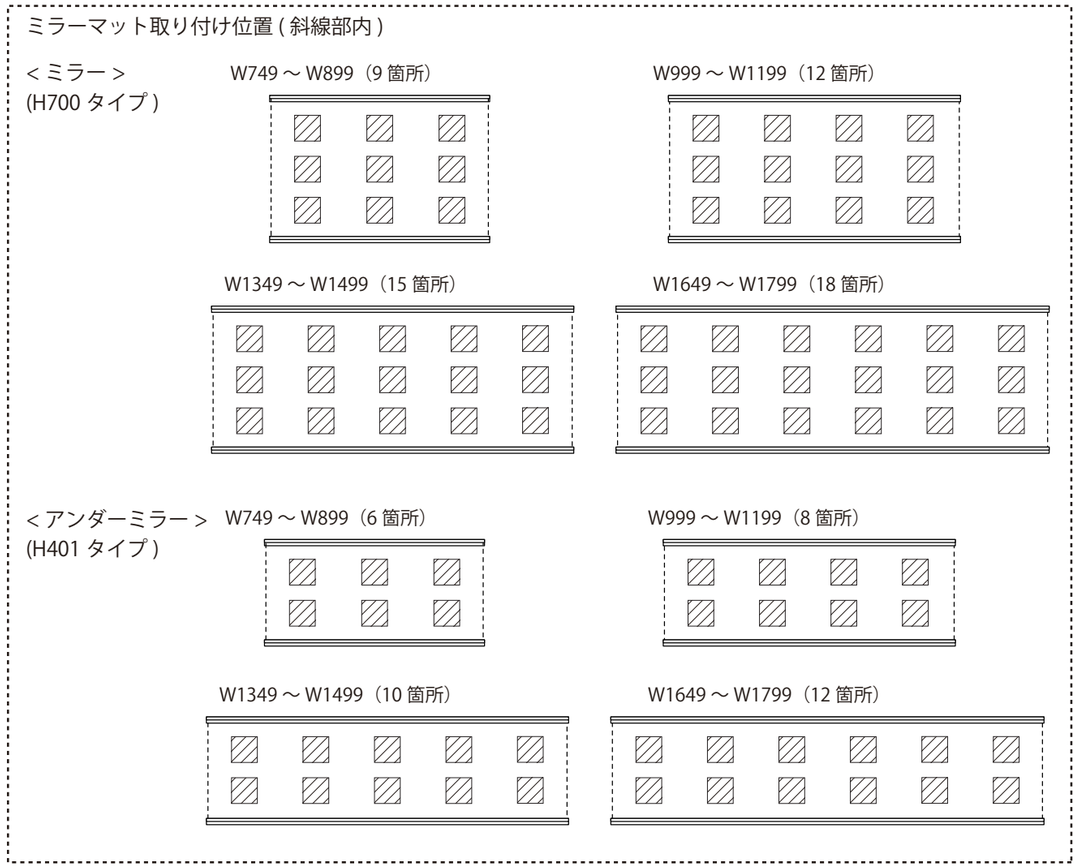


※W（商品サイズ）	※「P1」(ピッチ)	※「P2」(ピッチ)
W1799タイプ	849.5mm	566mm
W1649タイプ	774.5mm	516mm
W1499タイプ	699.5mm	466mm
W1349タイプ	624.5mm	416mm
W1199タイプ	549.5mm	366.5mm
W999タイプ	449.5mm	300mm
W899タイプ	399.5mm	266mm
W749タイプ	324.5mm	216mm

※H（商品サイズ）	※「Q1」(ピッチ)	※「Q2」(ピッチ)
H700タイプ	12.5mm	673.5mm
H401タイプ	10.5mm	376.5mm

2. ミラーマットとミラーボンドの固定について

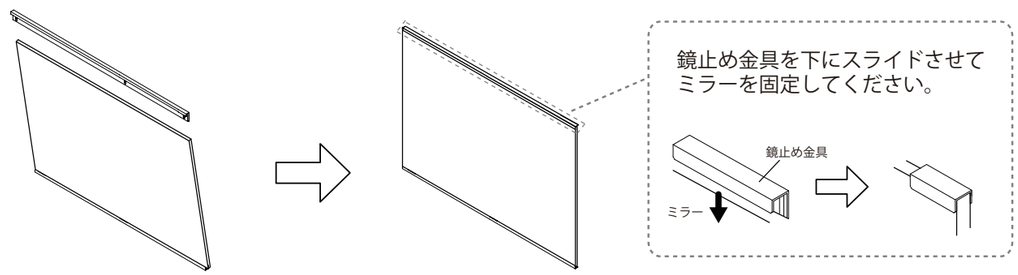
ミラーマット (5mm 厚) とミラーボンドを併用して固定して下さい。
（商品にはミラーマットとミラーボンドは付属しておりません。）
※壁紙が貼ってある場合、接着位置の壁紙を鏡のサイズより 5 センチほど小さく剥がして下さい。



※ミラーボンドをミラーマットが貼っていない空いてる位置に、ミラーマットよりも厚みを持たせるように塗って下さい。

3. 鏡止め金具にあわせてミラーを取り付けます。

下側の鏡止め金具に鏡を載せ、左右の位置を合わせて、圧着して下さい。
最後に上側の鏡止め金具をスライドさせて固定してください。



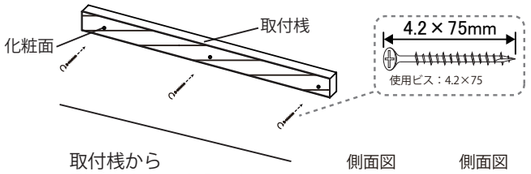
設置手順（取付位置寸法図）　（wash room LEDミラー）

※施工は必ず２名以上で行ってください。

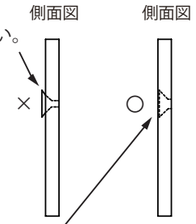
下地に 12 ミリ厚以上の JAS 規格相当合板が必要です。下地は商品から上下左右 50mm 以上はみ出して必要です。

1. 取付桟の設置詳細

■壁に取付桟を壁付け用ビスで固定して下さい。（3 ヶ所）
取付桟が水平になっているかの確認を行って下さい。
ビスは頭が飛び出さないようにしっかりと打込んで下さい。

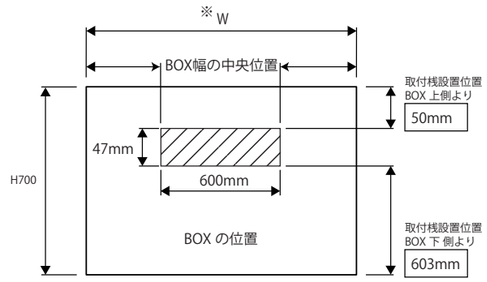


取付桟から
飛び出さないようにして下さい。



取付桟に
少し食い込ませるようにして下さい。

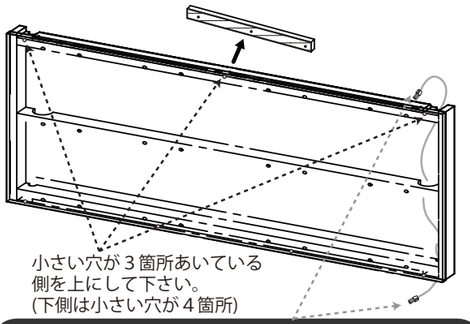
＜取付桟取付位置寸法＞



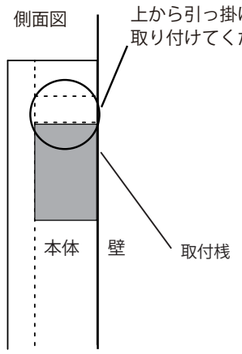
※W（商品サイズ）	
W1799タイプ	W1199タイプ
W1649タイプ	W999タイプ
W1499タイプ	W899タイプ
W1349タイプ	W749タイプ

2. 本体の設置詳細

■上下を確認してから本体裏面の上部の凹み部分に取付桟を引っ掛けます。なるべく取付桟が本体の真ん中になるようにしてください。
（商品サイズによって図が異なります。）※落下しないように必ず押さえながらビスで固定して下さい。

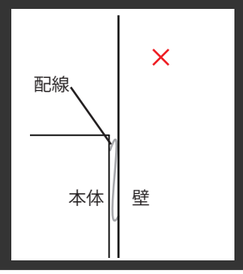


小さい穴が３箇所あいている
側を上にして下さい。
(下側は小さい穴が４箇所)



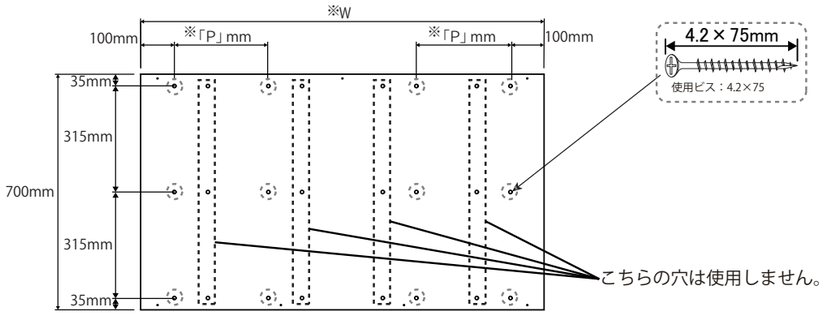
LED　設置前に配線の
事前準備が必要です。
詳細は別紙を参照して下さい。

⚠ 警告　設置時にLEDの配線を
挟まないように設置して下さい。
故障、感電、火災の原因になります。



3. フロントパネルの壁取り付けビス取付位置寸法

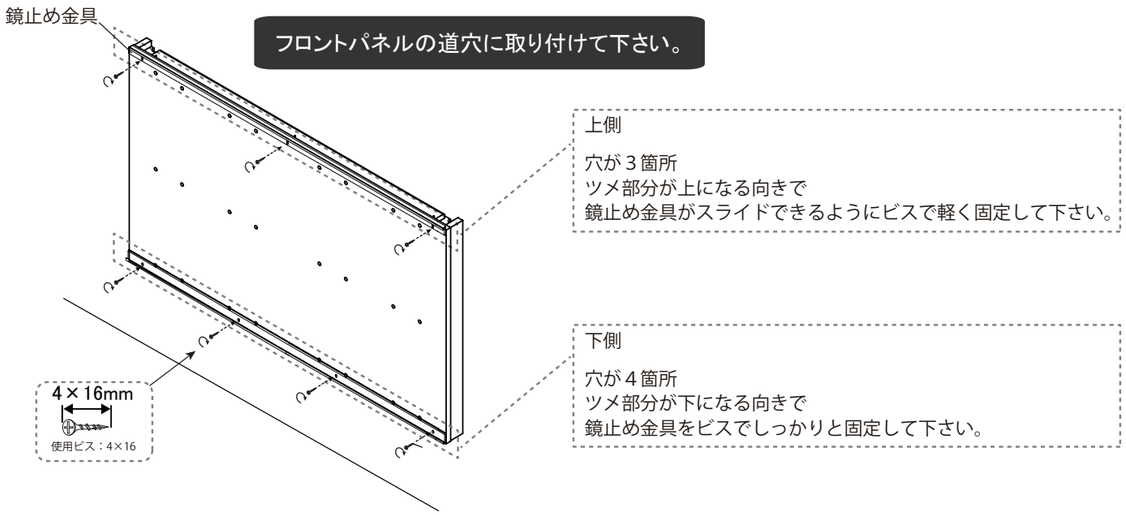
■フロントパネルにあいている以下の穴位置からビスで固定して下さい。



⚠ 警告　ビスで配線を傷つけないように
必ず指定の穴位置からビスで固定して下さい。
故障、感電、火災の原因になります。

※W（商品サイズ）	※「P」(ピッチ)
W1799タイプ	479.5mm
W1649タイプ	404.5mm
W1499タイプ	429.5mm
W1349タイプ	354.5mm
W1199タイプ	279.5mm
W999タイプ	249.5mm
W899タイプ	199.5mm
W749タイプ	154.5mm

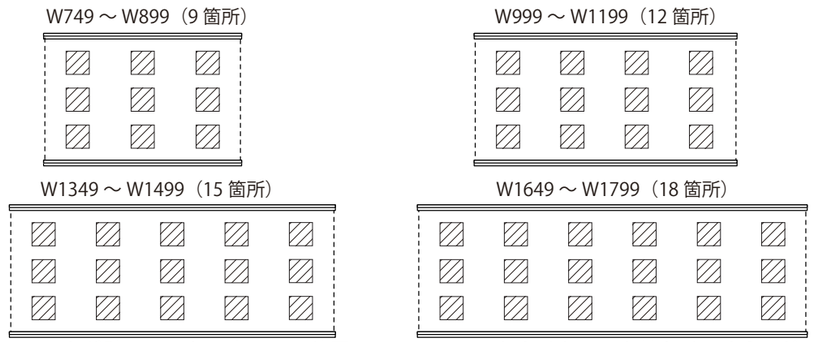
4. フロントパネルに鏡止め金具をビスで取り付けます。



5. ミラーマットとミラーボンドの固定について

ミラーマット (5mm 厚) とミラーボンドを併用して固定して下さい。
（商品にはミラーマットとミラーボンドは付属しておりません。）

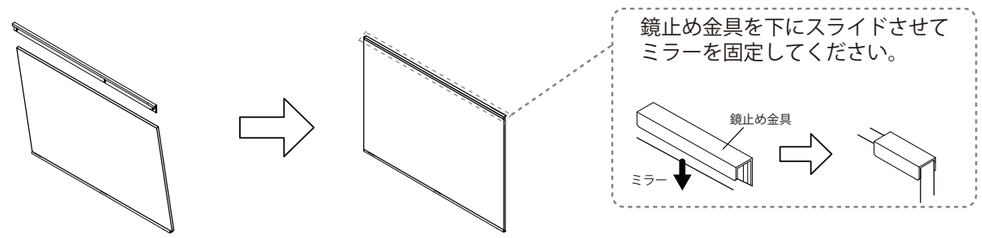
ミラーマット取り付け位置 (斜線部内)



※ミラーボンドをミラーマットが貼っていない空いてる位置に、ミラーマットよりも厚みを持たせるように塗って下さい。

6. 鏡止め金具にあわせてミラーを取り付けます。

下側の鏡止め金具に鏡を載せ、左右の位置を合わせて、圧着して下さい。
最後に上側の鏡止め金具をスライドさせて固定してください。

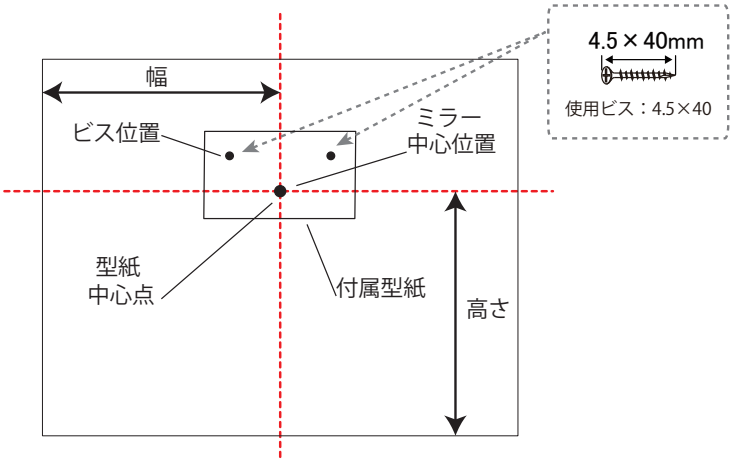


設置手順（取付位置寸法図）　（wash room LED ミラー）　※施工は必ず２名以上で行ってください。

下地に 12 ミリ厚以上の JAS 規格相当合板が必要です。
下地は商品から上下左右 50mm 以上はみ出して必要です。

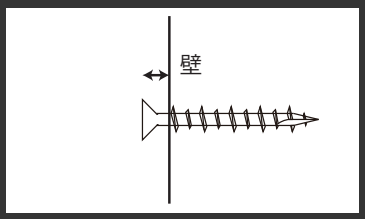
1. 壁掛け用ビスを取り付けます

①設置したい位置を決めます。(ミラーの幅、高さの中心)
②付属の型紙の中心点を位置に合わせて貼り付け、壁掛け用ビスを打ち込みます。(2 箇所)



⚠ 注意

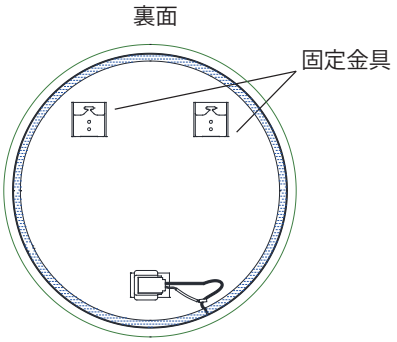
ミラーを掛ける際に壁掛け用ビスを
深く打ち込むと金具がはまらない、
浅く打ち込むとぐらつきが発生する為、
適切な打ち込み具合に調整を行なって下さい。

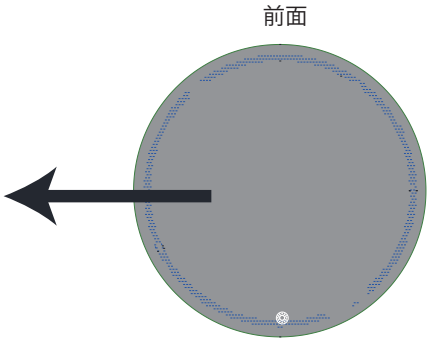


2. LED ミラーを取り付けます。

①ミラー裏面についている固定金具を
壁に打ち込んだ壁掛け用ビスに引っ掛けます。
※図と異なる商品もございますが同様にお取り付け下さい。

②ミラーを左にスライドさせて下さい。

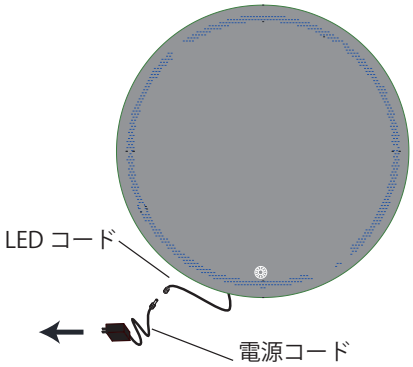




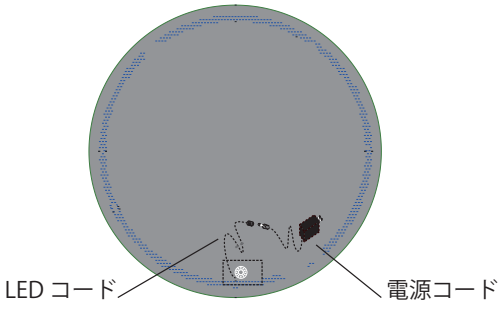
⚠ 注意　下から持ち上げて外れないか確認をして下さい。

LEDミラーの配線について

・壁のコンセントに繋ぐ場合



・壁内部コンセントに繋ぐ場合



設置手順（取付位置寸法図）　（wash room フロートタイプキャビネット）

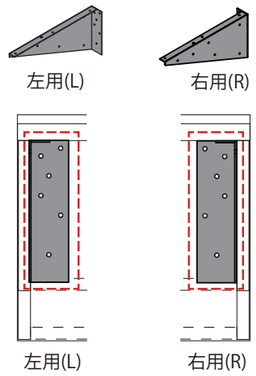
※施工は必ず２名以上で行ってください。

下地に 12 ミリ厚以上の JAS 規格相当合板と 30 ミリ厚以上の補強木 / 構造用合板が必要です。
下地は商品から上下左右 100mm 以上はみ出して必要です。付属の型紙 E を半分に切り、BOX を設置する位置に合わせ貼り付け、両端左右のビス位置を設定して新洗面受け金具を取り付けて下さい。

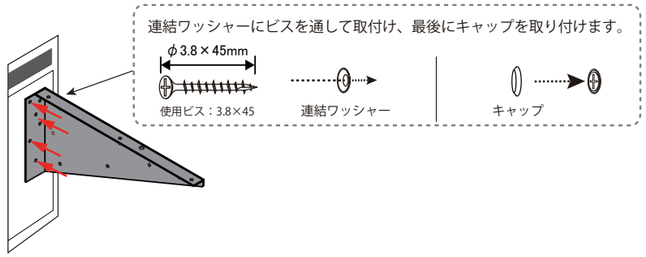
⚠ 注意　フィラーを設置する場合、フィラーの設置手順書を先にお読み下さい。

1. 新洗面受け金具、取付位置寸法詳細

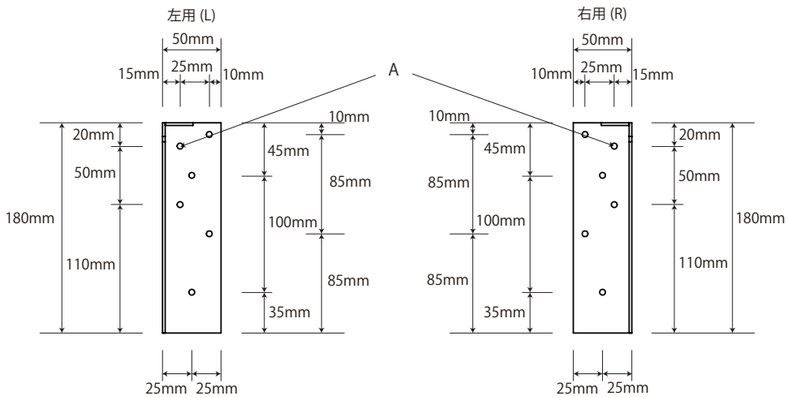
■新洗面受け金具には左用と右用があります。



■壁に新洗面受け金具を固定ビス（壁用）と連結ワッシャーで取り付けて下さい。（左右各 6 ヶ所）
最後にキャップを取り付けて
取付位置寸法は下記寸法を参照して下さい。



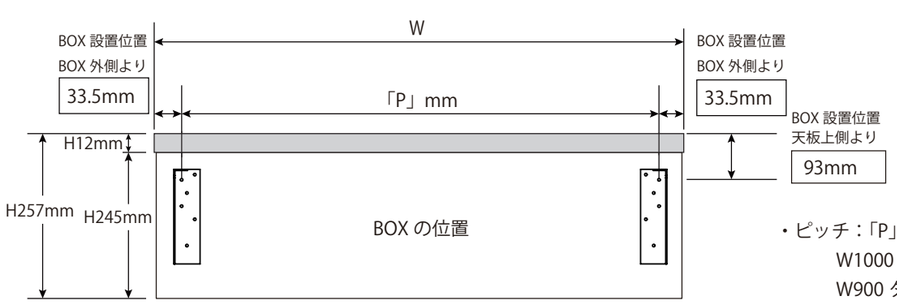
■新洗面受け金具の壁取り付け面の寸法は下記を参照して下さい。



※図面の寸法は「A」穴中央部

■ブラケット取付位置寸法
・幅：BOX 外側から 33.5mm
・高さ：天板上から 93mm

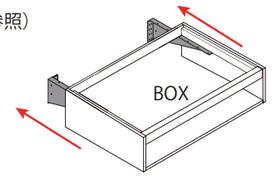
■新洗面受け金具を壁に取り付ける際の基準寸法は下記を参照して下さい。
（商品サイズによって図が異なります。）



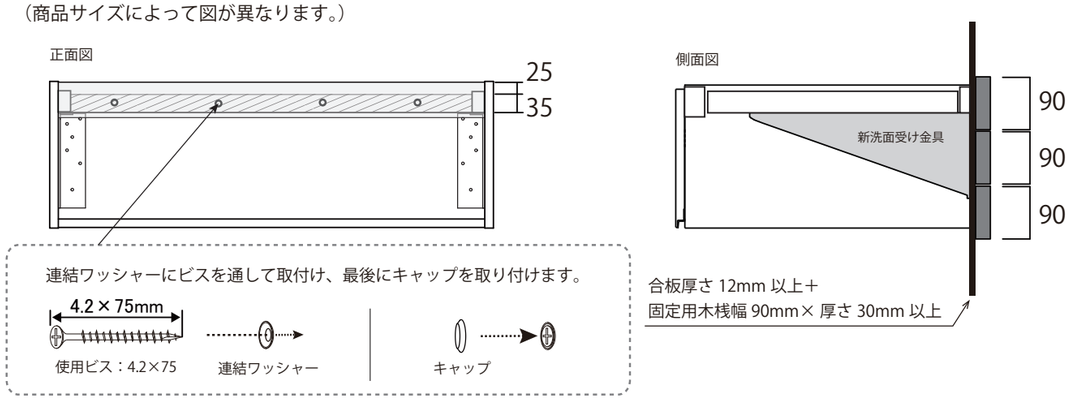
・ピッチ：「P」寸法
W1000 タイプ：933.5mm
W900 タイプ　：833.5mm
W750 タイプ　：683.5mm

2. BOX、下地と補強ビス取付位置寸法詳細

■引出を取り外して施工を行ってください。（商品説明書参照）
（商品サイズによって図が異なります。）



■BOX 背板の金具を避けた斜線部の範囲内で、壁面の芯材がある位置に補強ビスと連結ワッシャーを取り付けて下さい。（４ヶ所）
最後にキャップを取り付けてください。
（商品サイズによって図が異なります。）



⚠ 注意

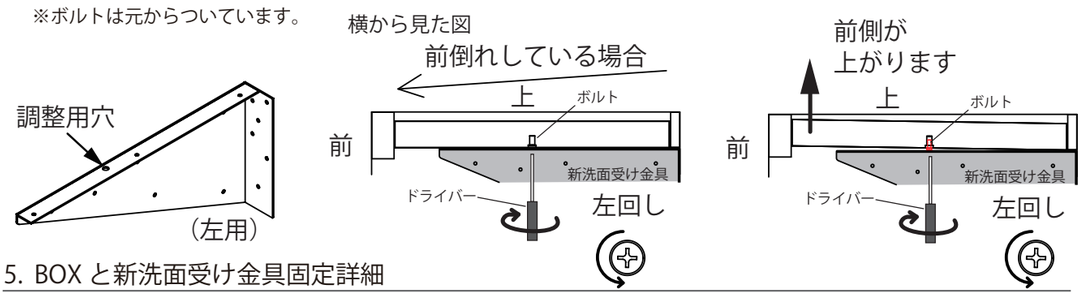
新洗面受け金具と本体の固定は最後に行いますので、ここでは取付けないで下さい。

3. 天板、洗面ボウル取付

■天板、洗面ボウル取付手順は別紙参照

4. 天板の水平調整

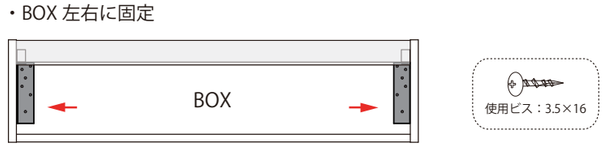
■新洗面受け金具の調整用穴から下図のボルトを回して、天板が水平になるよう調節してください。
※ボルトは元からついています。



5. BOX と新洗面受け金具固定詳細

■固定する際は必ず天板が水平になっている状態で固定ビス（本体用）を取り付けて下さい。（左右各 6 ヶ所）

・BOX 左右に固定



設置手順（取付位置寸法図）　（wash room フロートタイプキャビネット）

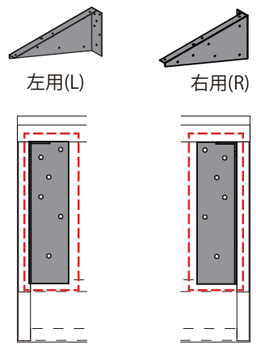
※施工は必ず２名以上で行ってください。

下地に 12 ミリ厚以上の JAS 規格相当合板と 30 ミリ厚以上の補強木 / 構造用合板が必要です。
下地は商品から上下左右 100㎜ 以上はみ出して必要です。付属の型紙 E を半分に切り、BOX を設置する位置に合わせ貼り付け、両端左右のビス位置を設定して新洗面受け金具を取り付けて下さい。

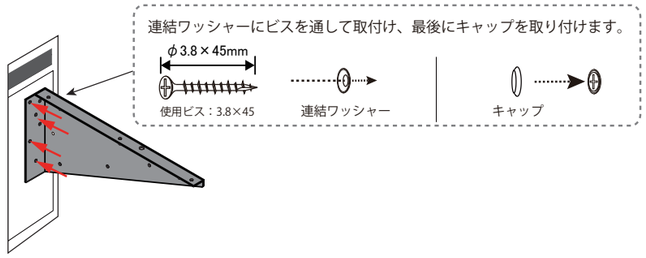
⚠ 注意　フィラーを設置する場合、フィラーの設置手順書を先にお読み下さい。

1. 新洗面受け金具、取付位置寸法詳細

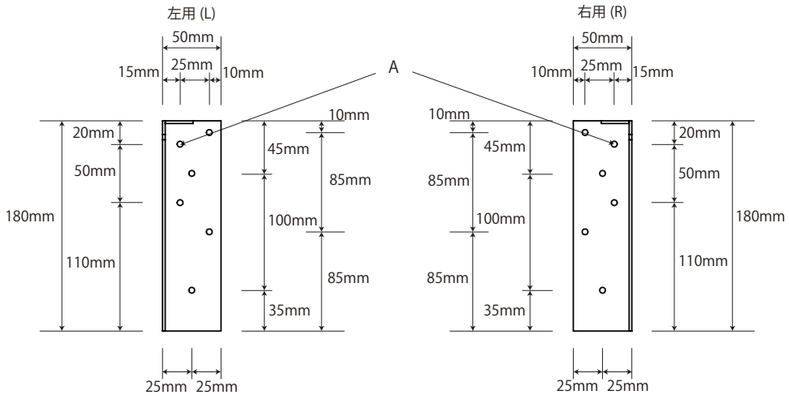
■新洗面受け金具には左用と右用があります。



■壁に新洗面受け金具を固定ビス（壁用）と連結ワッシャーで取り付けて下さい。（左右各 6 ヶ所）
最後にキャップを取り付けて
取付位置寸法は下記寸法を参照して下さい。



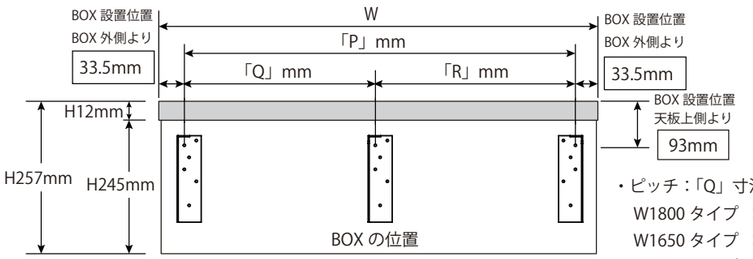
■新洗面受け金具の壁取り付け面の寸法は下記を参照して下さい。



※図面の寸法は「A」穴中央部

■ブラケット取付位置寸法
・幅：BOX 外側から 33.5mm
・高さ：天板上から 93mm

■新洗面受け金具を壁に取り付ける際の基準寸法は下記を参照して下さい。
（商品サイズによって図が異なります。）



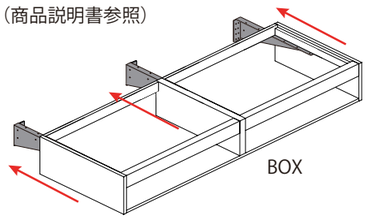
・ピッチ：「P」寸法
W1800 タイプ　：1732.5mm
W1650 タイプ　：1582.5mm
W1500 タイプ　：1432.5mm
W1350L タイプ：1282.5mm
W1350R タイプ：1282.5mm
W1200L タイプ：1132.5mm
W1200R タイプ：1132.5mm

・ピッチ：「Q」寸法
W1800 タイプ　：899mm
W1650 タイプ　：824mm
W1500 タイプ　：749mm
W1350L タイプ：899mm
W1350R タイプ：449mm
W1200L タイプ：899mm
W1200R タイプ：299mm

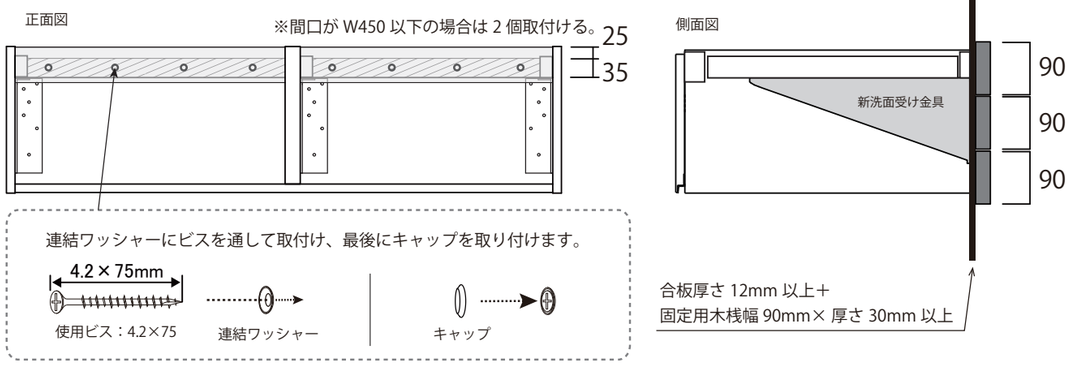
・ピッチ：「R」寸法
W1800 タイプ　：833.5mm
W1650 タイプ　：758.5mm
W1500 タイプ　：683.5mm
W1350L タイプ：383.5mm
W1350R タイプ：833.5mm
W1200L タイプ：233.5mm
W1200R タイプ：833.5mm

2. BOX、下地と補強ビス取付位置寸法詳細

■引出を取り外して施工を行ってください。（商品説明書参照）
（商品サイズによって図が異なります。）



■BOX 背板の金具を避けた斜線部の範囲内で、壁面の芯材がある位置に補強ビスと連結ワッシャーを取り付けて下さい。（４ヶ所）
最後にキャップを取り付けてください。
（商品サイズによって図が異なります。）



⚠ 注意

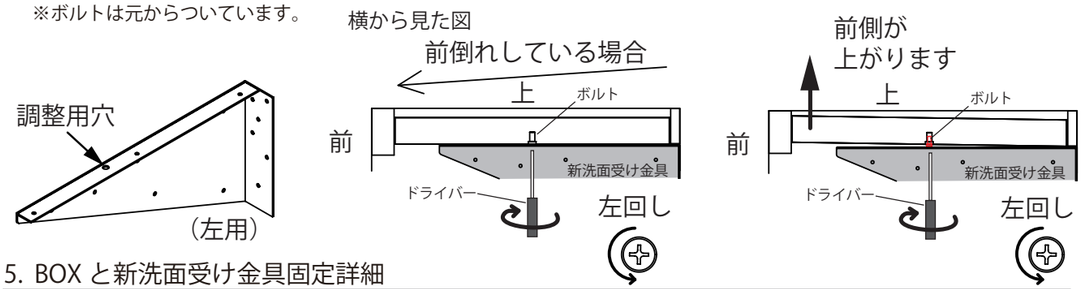
新洗面受け金具と本体の固定は最後に行いますので、ここでは取付けないで下さい。

3. 天板、洗面ボウル取付

■天板、洗面ボウル取付手順は別紙参照

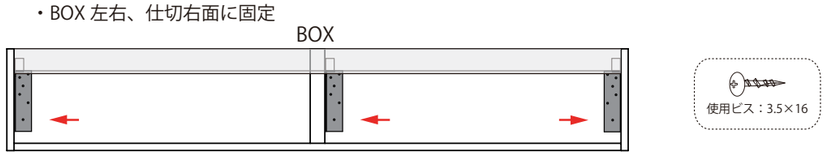
4. 天板の水平調整

■新洗面受け金具の調整用穴から下図のボルトを回して、天板が水平になるよう調節してください。
※ボルトは元からついています。



5. BOX と新洗面受け金具固定詳細

■固定する際は必ず天板が水平になっている状態で固定ビス（本体用）を取り付けて下さい。（左右中央各 6 ヶ所）
・BOX 左右、仕切右面に固定



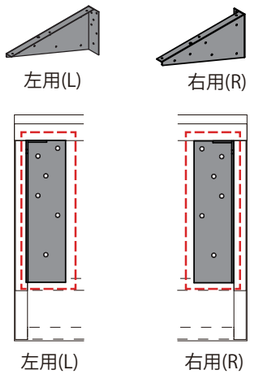
設置手順（取付位置寸法図）　（wash room サイド BOX）

※施工は必ず２名以上で行ってください。

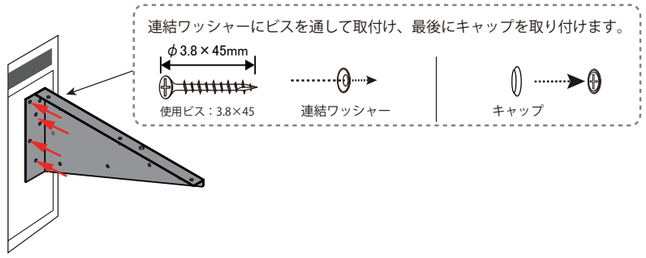
下地に 12 ミリ厚以上の JAS 規格相当合板と 30 ミリ厚以上の補強木 / 構造用合板が必要です。
下地は商品から上下左右 100㎜ 以上はみ出して必要です。付属の型紙 D を半分に切り、BOX を設置する位置に合わせ貼り付け、両端左右のビス位置を設定して新洗面受け金具を取り付けて下さい。

1. 新洗面受け金具、取付位置寸法詳細

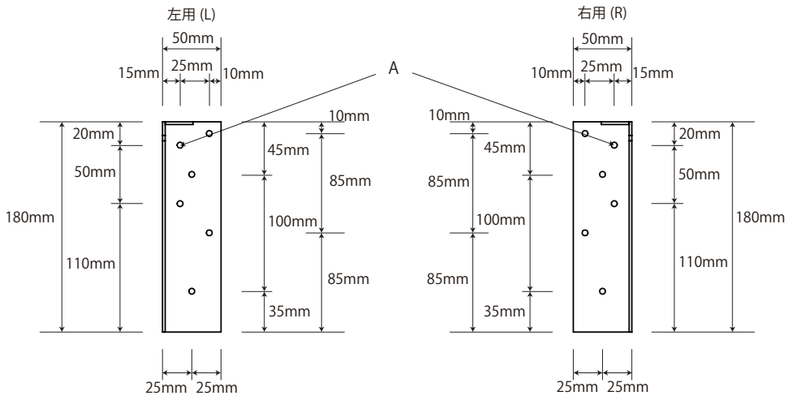
■新洗面受け金具には左用と右用があります。



■壁に新洗面受け金具を固定ビス（壁用）と連結ワッシャーで
取り付けて下さい。（左右各 6 ヶ所）
最後にキャップを取り付けて
取付位置寸法は下記寸法を参照して下さい。



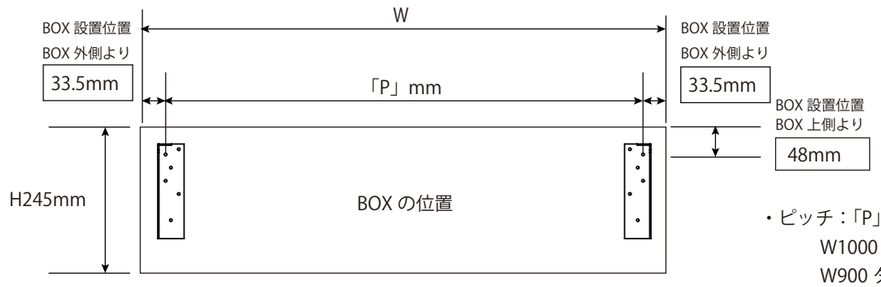
■新洗面受け金具の壁取り付け面の寸法は下記を参照して下さい。



※図面の寸法は「A」穴中央部

■ブラケット取付位置寸法
・幅：BOX 外側から 33.5mm
・高さ：BOX 上から 48mm

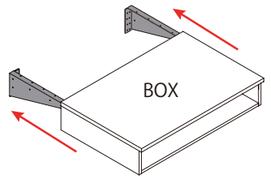
■新洗面受け金具を壁に取り付ける際の基準寸法は下記を参照して下さい。
（商品サイズによって図が異なります。）



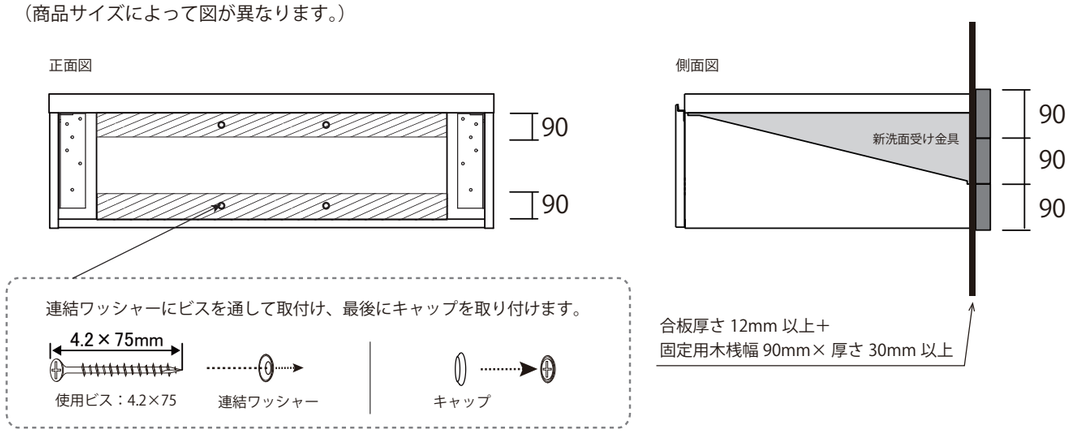
・ピッチ：「P」寸法
W1000 タイプ：933.5mm
W900 タイプ　：833.5mm
W750 タイプ　：683.5mm
W600 タイプ　：533.5mm

2. BOX、下地と補強ビス取付位置寸法詳細

■引出を取り外して施工を行ってください。（商品説明書参照）
（商品サイズによって図が異なります。）



■BOX 背板の金具を避けた斜線部の範囲内で、壁面の芯材がある位置に補強ビスと連結ワッシャーを取り付けて下さい。（４ヶ所）
最後にキャップを取り付けてください。
（商品サイズによって図が異なります。）



3. BOX と新洗面受け金具固定詳細

■新洗面受け金具と BOX を固定して下さい。（左右各 6 ヶ所）

・BOX 左右に固定

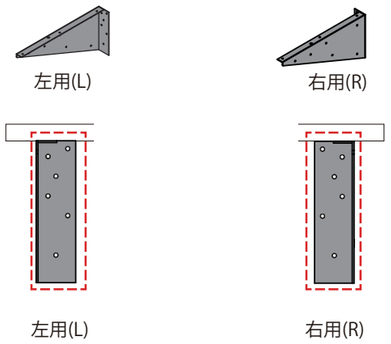
設置手順（取付位置寸法図）　（wash room アンダーシェルフ）

※施工は必ず２名以上で行ってください。

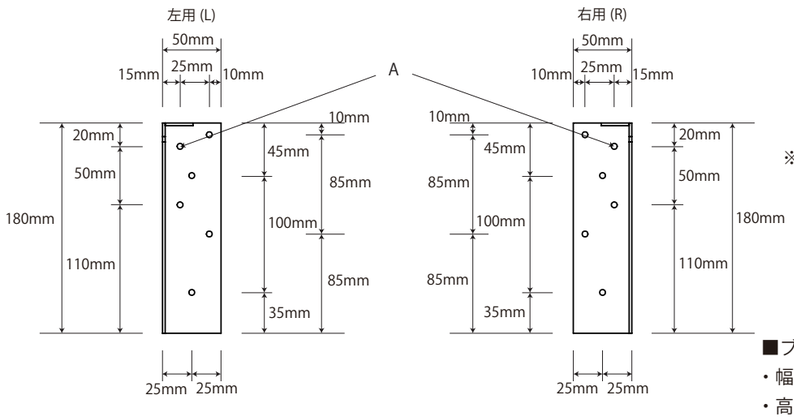
下地に 12 ミリ厚以上の JAS 規格相当合板が必要です。
下地は商品から上下左右 50㎜ 以上はみ出して必要です。付属の型紙 F を半分に切り、本体を設置する位置に合わせ貼り付け、両端左右のビス位置を設定して金具を取り付けて下さい。

1. アンダーシェルフ用金具、取付位置寸法詳細

■アンダーシェルフ用金具には左用と右用があります。



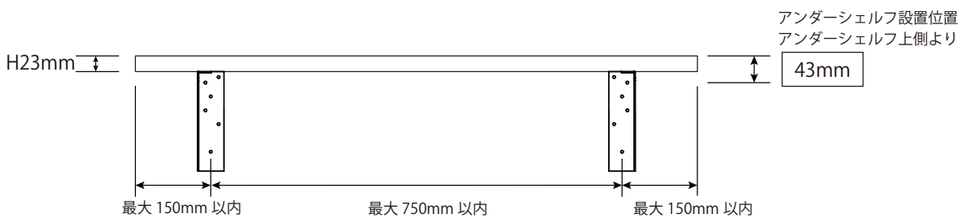
■アンダーシェルフ用金具の壁取り付け面の寸法は下記を参照して下さい。



※図面の寸法は「A」穴中央部

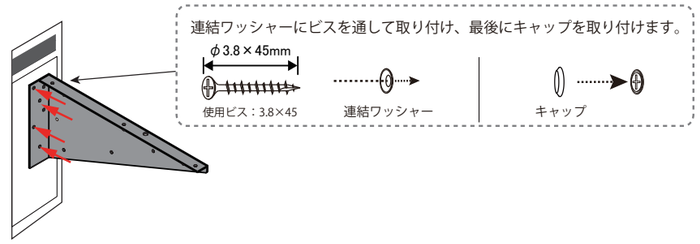
■ブラケット取付位置寸法
・幅：下記参照
・高さ：アンダーシェルフ上から 43mm

■アンダーシェルフ用金具を壁に取り付ける際の基準寸法は下記の範囲内であればどこでも取付可能です。



2. アンダーシェルフ用金具の取付・固定詳細

■パターン１：壁に取り付けてから本体に固定する場合
壁にアンダーシェルフ用金具を固定ビス（壁用）と連結ワッシャーで取り付けて下さい。（各 6 ヶ所）
最後にキャップを取り付けて下さい。取付位置寸法は前ページに記載の寸法を参照して下さい。

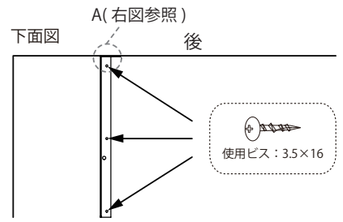


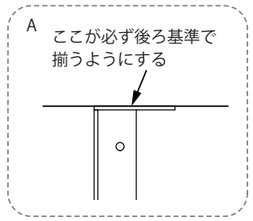
固定する際は必ずアンダーシェルフが床と水平になっている状態で固定ビス（本体用）を取り付けて下さい。（各 3 ヶ所）
(商品サイズによって図や金具の個数が異なります。)

・アンダーシェルフ下面に固定

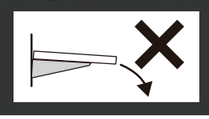
■パターン２：本体に取り付けてから壁に固定する場合　(設置高さが低く本体用固定ビスが打てない場合)
アンダーシェルフ背面とアンダーシェルフ用金具の背面が揃うようにして固定ビス（本体用）を取り付けて下さい。（各 3 ヶ所）

・アンダーシェルフ下面に取り付け

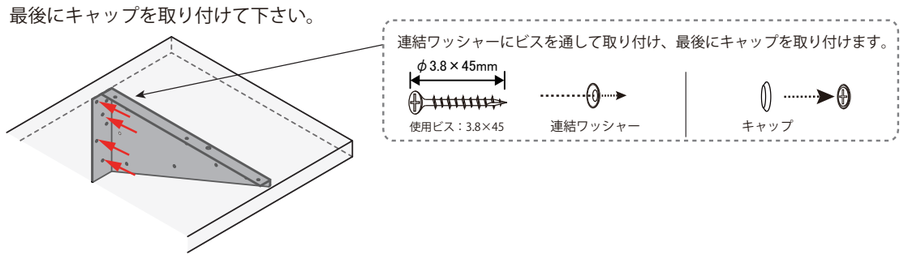




⚠ 注意
スキマがあると前倒れの危険性がございます。
必ず背面同士をピッタリ合わせて設置して下さい。

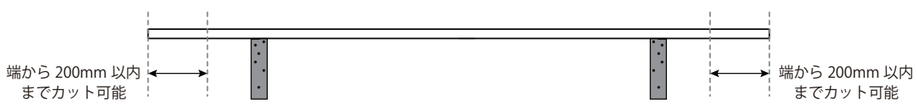


必ずアンダーシェルフが床と水平になっている状態で壁に固定ビス（壁用）と連結ワッシャーで取り付けて下さい。（各 6 ヶ所）
最後にキャップを取り付けて下さい。



3. アンダーシェルフの幅カット詳細

■左右の端から各 200mm までを範囲としてカットして下さい。
※カットした面の化粧材 (テープ等) は付随しておりません。



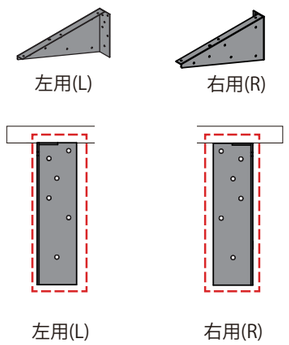
設置手順（取付位置寸法図）　（wash room アンダーシェルフ）

※施工は必ず２名以上で行ってください。

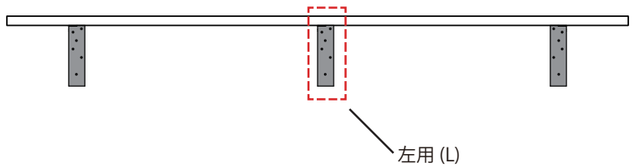
下地に 12 ミリ厚以上の JAS 規格相当合板が必要です。
下地は商品から上下左右 50㎜ 以上はみ出して必要です。付属の型紙 F を半分に切り、本体を設置する位置に合わせ貼り付け、両端左右のビス位置を設定して金具を取り付けて下さい。

1. アンダーシェルフ用金具、取付位置寸法詳細

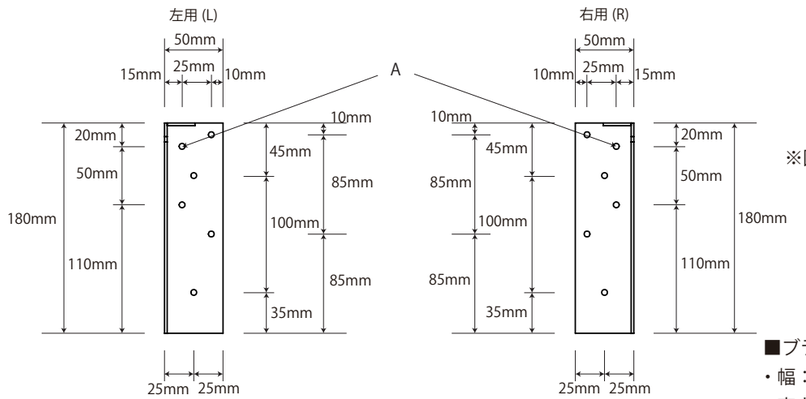
■アンダーシェルフ用金具には左用と右用があります。



＜アンダーシェルフ用金具が３個ある場合＞
中央部は左右取り付け後に取り付けます。
中央部のアンダーシェルフ用金具は左用 (L) を使用します。



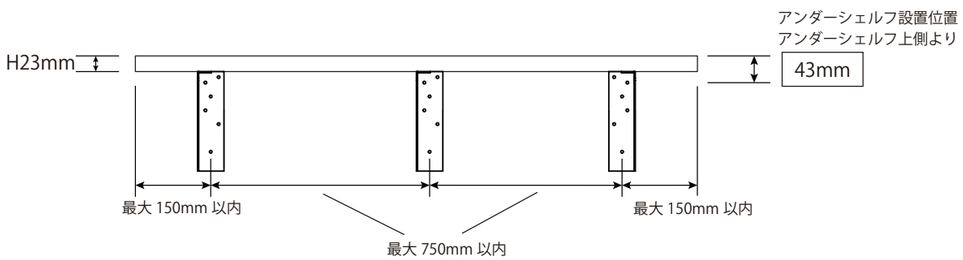
■アンダーシェルフ用金具の壁取り付け面の寸法は下記を参照して下さい。



※図面の寸法は「A」穴中央部

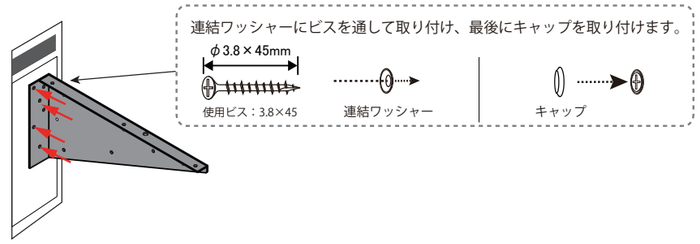
■ブラケット取付位置寸法
・幅：下記参照
・高さ：アンダーシェルフ上から 43mm

■アンダーシェルフ用金具を壁に取り付ける際の基準寸法は下記の範囲内であればどこでも取付可能です。
（商品サイズによって図や金具の個数が異なります。）



2. アンダーシェルフ用金具の取付・固定詳細

■パターン１：壁に取り付けてから本体に固定する場合
壁にアンダーシェルフ用金具を固定ビス（壁用）と連結ワッシャーで取り付けて下さい。（各 6 ヶ所）
最後にキャップを取り付けて下さい。取付位置寸法は前ページに記載の寸法を参照して下さい。

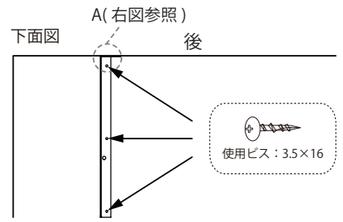


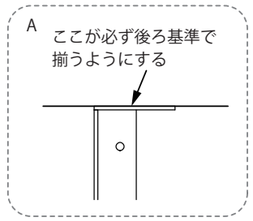
固定する際は必ずアンダーシェルフが床と水平になっている状態で固定ビス（本体用）を取り付けて下さい。（各 3 ヶ所）
(商品サイズによって図や金具の個数が異なります。)

・アンダーシェルフ下面に固定

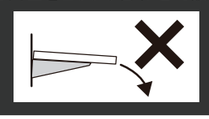
■パターン２：本体に取り付けてから壁に固定する場合　(設置高さが低く本体用固定ビスが打てない場合)
アンダーシェルフ背面とアンダーシェルフ用金具の背面が揃うようにして固定ビス（本体用）を取り付けて下さい。（各 3 ヶ所）

・アンダーシェルフ下面に取り付け

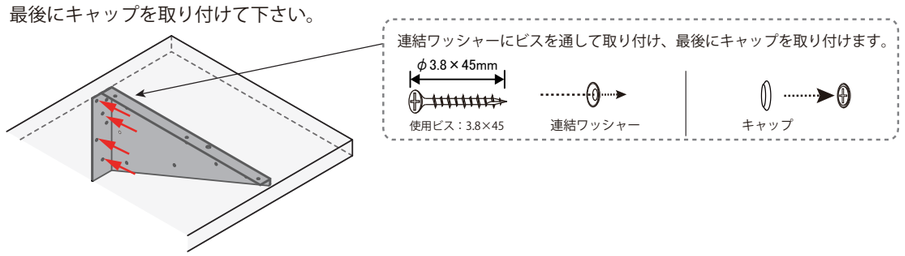




⚠ 注意
スキマがあると前倒れの危険性がございます。
必ず背面同士をピッタリ合わせて設置して下さい。

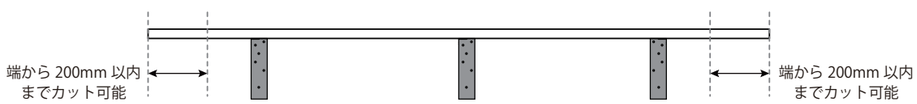


必ずアンダーシェルフが床と水平になっている状態で壁に固定ビス（壁用）と連結ワッシャーで取り付けて下さい。（各 6 ヶ所）
最後にキャップを取り付けて下さい。



3. アンダーシェルフの幅カット詳細

■左右の端から各 200mm までを範囲としてカットして下さい。
(商品サイズによって図や金具の個数が異なります。)
※カットした面の化粧材 (テープ等) は付随しておりません。



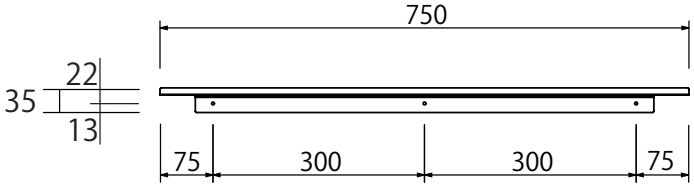
設置手順（取付位置寸法図）　（wash room サポートシェルフ）

下地に 12 ミリ厚以上の JAS 規格相当合板が必要です。
下地は商品から上下左右 50㎜ 以上はみ出して必要です。

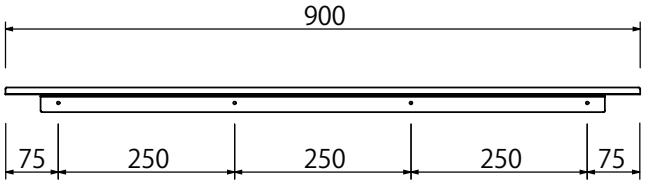
1. 本体取付穴寸法詳細

本体の穴部分で、壁に固定ビスと連結ワッシャーを使い取り付けてください。
最後にキャップを取り付けてください。
（商品サイズによって図と穴位置や個数が異なります。）

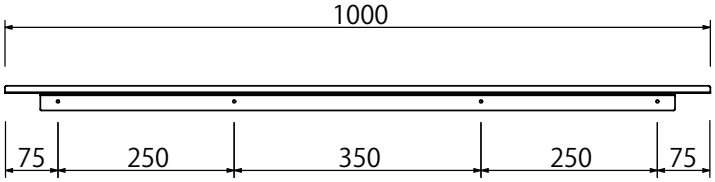
・MA-Q750SH



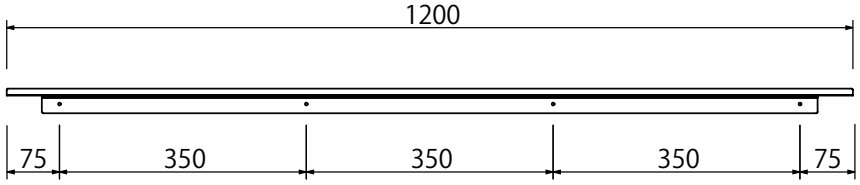
・MA-Q900SH



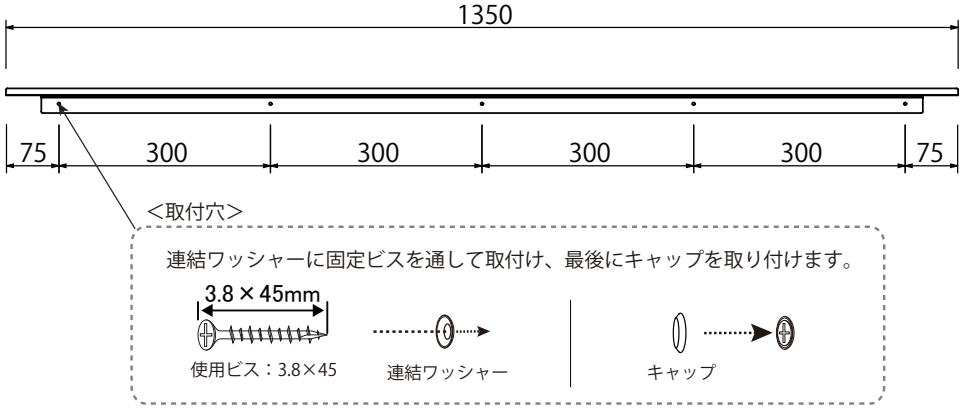
・MA-Q1000SH



・MA-Q1200SH



・MA-Q1350SH

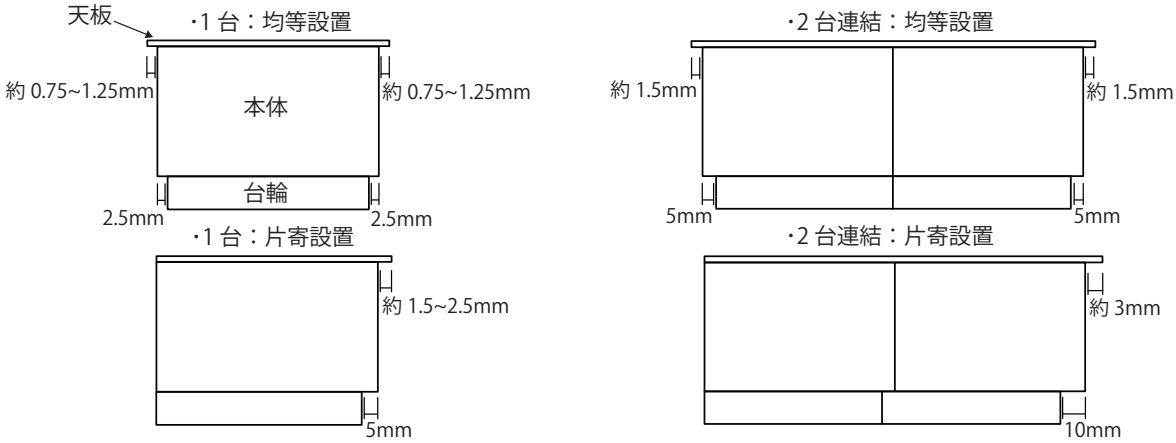


設置手順（取付位置寸法図）　（wash room フロアタイプキャビネット）

下地に 12 ミリ厚以上の JAS 規格相当合板が必要です。
下地は商品から上下左右 50mm 以上はみ出して必要です。

⚠ 注意　フィラーを設置する場合、フィラーの設置手順書を先にお読み下さい。

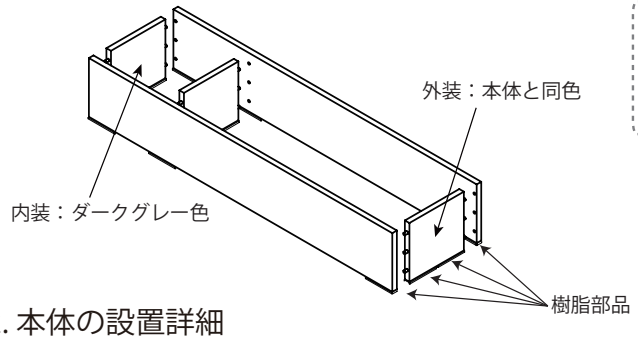
※正面図　天板、本体、台輪の組立後は以下のような寸法になります。下記をふまえて設置位置を決めてください。
※幅オーダー天板は除く。
（商品によって図が異なる場合があります。）

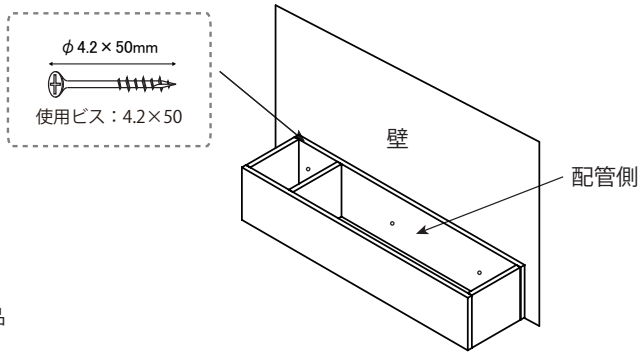


1. 台輪の組立・設置詳細

■取付穴に付属のボンドを入れて、台輪を組み立てて下さい。
板の木口に付いている樹脂部品が全て下側になるように
組み立てて下さい。
※中央の板が無い場合もあります。
（商品によって図と穴位置や穴の個数が異なります。）

■組み立てた台輪を設置し、壁に壁付け用ビスで 3 ヶ所
固定して下さい。
中央の板があるものは、配管が通る方が広くなるように
設置して下さい。
（商品によって図やサイズが異なります。）

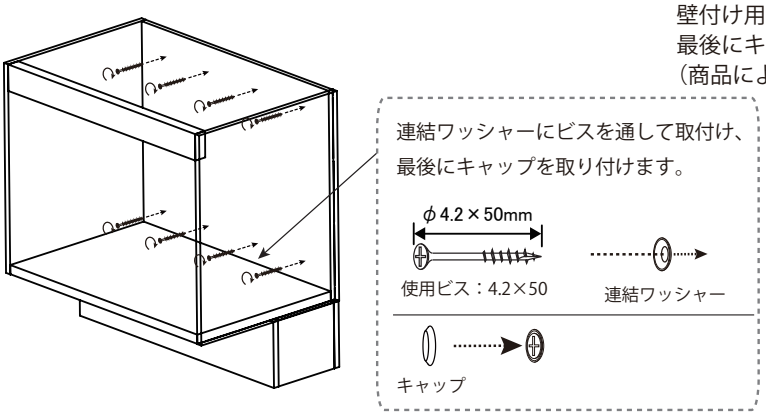


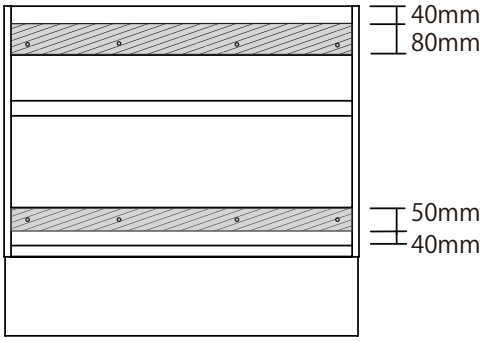


2. 本体の設置詳細

■台輪の上に本体を乗せて
押さえながらビスで固定して下さい。

■ビス取付位置寸法
BOX 背板の斜線部の範囲内で、壁面の芯材がある位置に
壁付け用ビスと連結ワッシャーを取り付けて下さい。（上下各 4 ヶ所）
最後にキャップを取り付けて下さい。
（商品によって図やサイズが異なります。）





⚠ 警告　固定前の本体は前倒れの恐れがありますので必ず押さえながら固定して下さい。

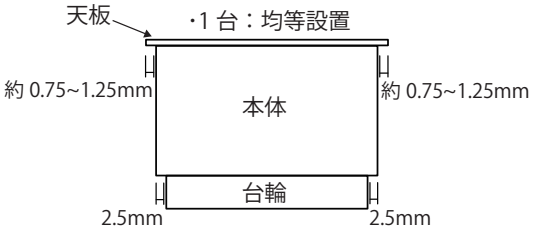
天板・洗面ボウル取付・左右連結の手順は別紙参照

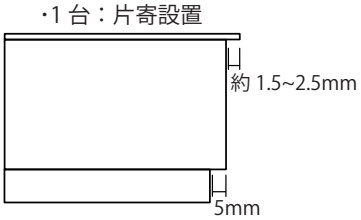
設置手順（取付位置寸法図）　（wash room フロアタイプキャビネット）

下地に 12 ミリ厚以上の JAS 規格相当合板が必要です。
下地は商品から上下左右 50mm 以上はみ出して必要です。

⚠ 注意　フィラーを設置する場合、フィラーの設置手順書を先にお読み下さい。

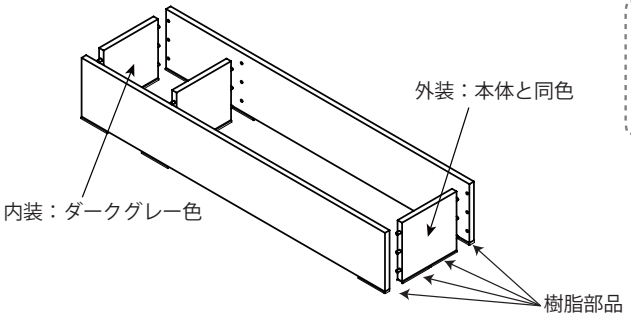
※正面図　天板、本体、台輪の組立後は以下のような寸法になります。下記をふまえて設置位置を決めてください。
※幅オーダー天板は除く。
（商品によって図が異なる場合があります。）



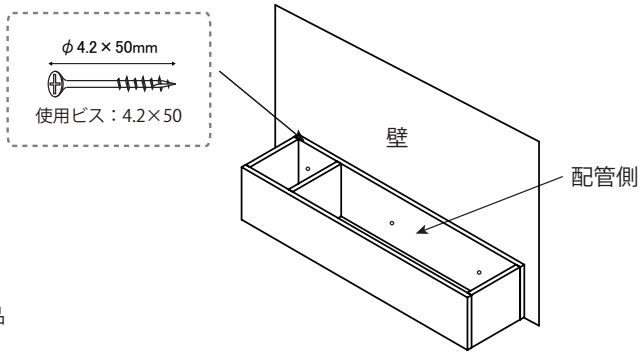


1. 台輪の組立・設置詳細

■取付穴に付属のボンドを入れて、台輪を組み立てて下さい。
板の木口に付いている樹脂部品が全て下側になるように
組み立てて下さい。
（商品によって図と穴位置や穴の個数が異なります。）

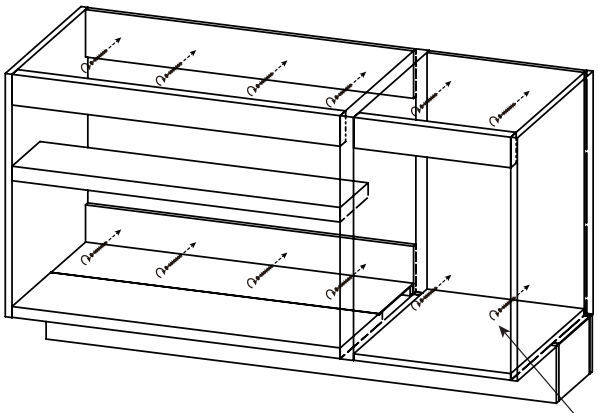


■組み立てた台輪を設置し、壁に壁付け用ビスで 3 ヶ所
固定して下さい。
中央の板があるものは、配管が通る方が広くなるように
設置して下さい。
（商品によって図とサイズが異なります。）

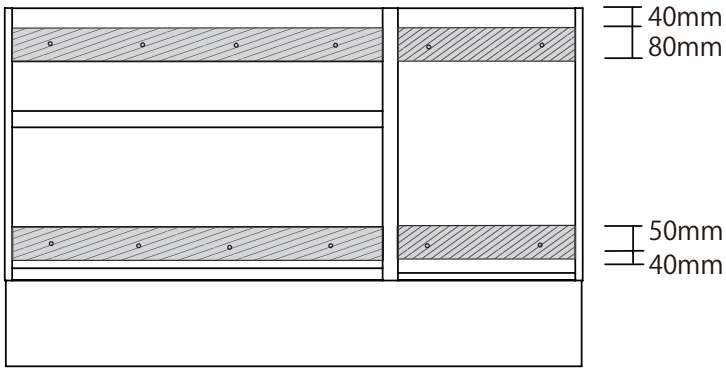


2. 本体の設置詳細

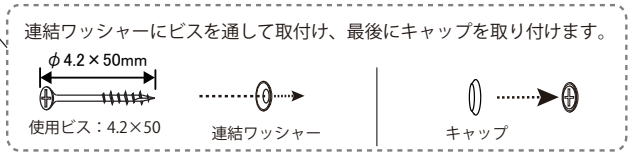
■台輪の上に本体を乗せて
押さえながらビスで固定して下さい。



■ビス取付位置寸法
BOX 背板の斜線部の範囲内で、壁面の芯材がある位置に
壁付け用ビスと連結ワッシャーを取り付けて下さい。（上下各 6 ヶ所）
最後にキャップを取り付けて下さい。
（商品によって図やサイズが異なります。）



⚠ 警告　固定前の本体は前倒れの
恐れがありますので必ず押さえ
ながら固定して下さい。

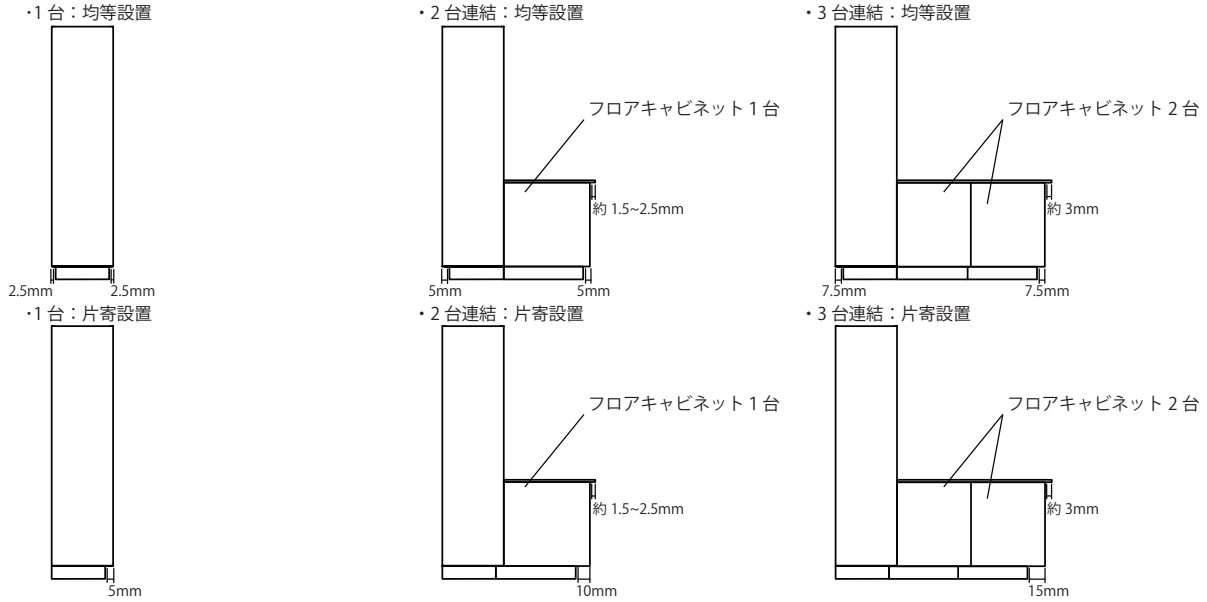


天板・洗面ボウル取付・左右連結の手順は別紙参照

設置手順（取付位置寸法図）　wash room トールキャビネット（ベーシック）

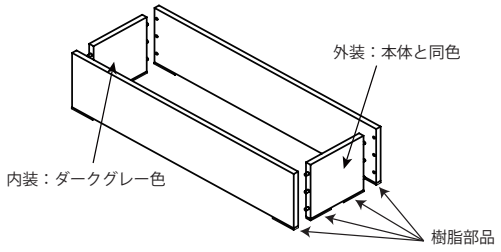
下地に 12 ミリ厚以上の JAS 規格相当合板が必要です。
下地は商品から左右 50mm 以上はみ出して必要です。

※正面図　本体、台輪の組立後は以下のような寸法になります。下記をふまえて設置位置を決めてください。
（商品によって図が異なる場合があります。）

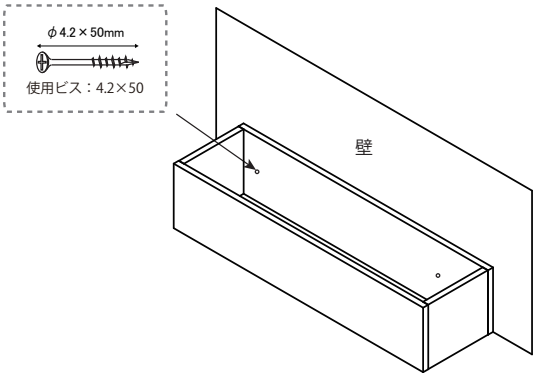


1. 台輪の組立・設置詳細

■取付穴に付属のボンドを入れて、台輪を組み立てて下さい。
板の木口に付いている樹脂部品が全て下側になるように
組み立てて下さい。

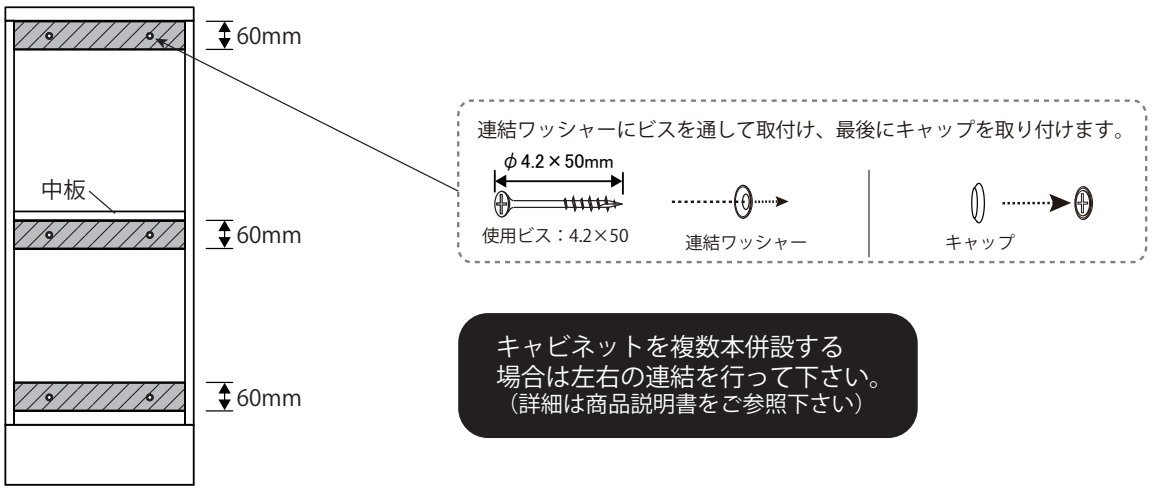


■組み立てた台輪を設置し、壁に壁付け用ビスで 2 ヶ所
固定して下さい。



2. 本体の壁付け用ビス取付位置寸法

BOX 背板の斜線部の範囲内で、壁面の芯材がある位置に壁付け用ビスと連結ワッシャーを取り付けて下さい。
最後にキャップを取り付けて下さい。
（グレー部 上中下各 6 ヶ所）



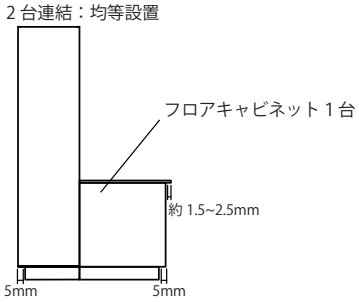
キャビネットを複数本併設する
場合は左右の連結を行って下さい。
（詳細は商品説明書をご参照下さい）

設置手順（取付位置寸法図）　wash room トールキャビネット（サイドオープン）

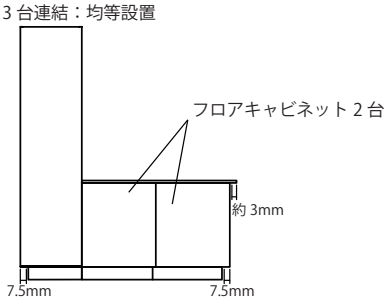
下地に12ミリ厚以上のJAS規格相当合板が必要です。
下地は商品から左右50mm以上はみ出して必要です。

※正面図　本体、台輪の組立後は以下のような寸法になります。下記をふまえて設置位置を決めてください。
（商品によって図が異なる場合があります。）

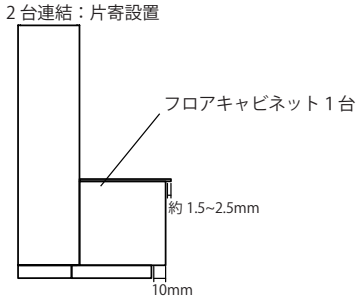
・2 台連結：均等設置



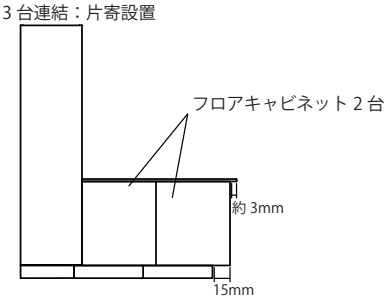
・3 台連結：均等設置



・2 台連結：片寄設置

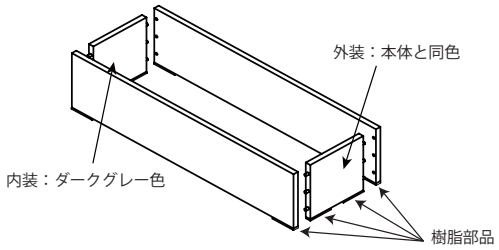


・3 台連結：片寄設置

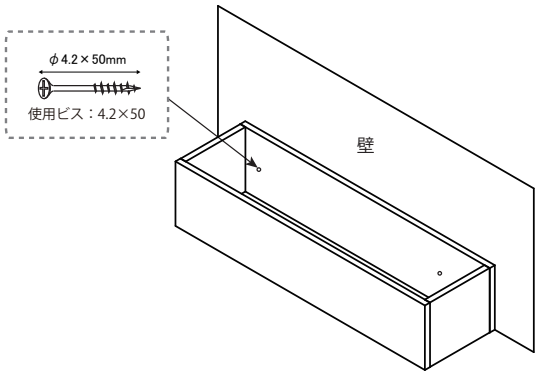


1. 台輪の組立・設置詳細

■取付穴に付属のボンドを入れて、台輪を組み立てて下さい。
板の木口に付いている樹脂部品が全て下側になるように
組み立てて下さい。



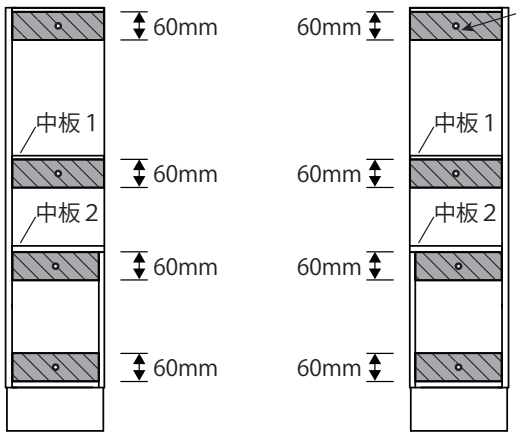
■組み立てた台輪を設置し、壁に壁付け用ビスで 2 ヶ所
固定して下さい。



2. 本体の壁付け用ビス取付位置寸法

BOX 背板の斜線部の範囲内で、壁面の芯材がある位置に壁付け用ビスと連結ワッシャーを取り付けて下さい。
最後に本体色柄に応じたキャップ色を取り付けて下さい。
（グレー部 各 4 ヶ所）

左設置用BOX　　右設置用BOX



連結ワッシャーにビスを通して取付け、最後にキャップを取り付けます。

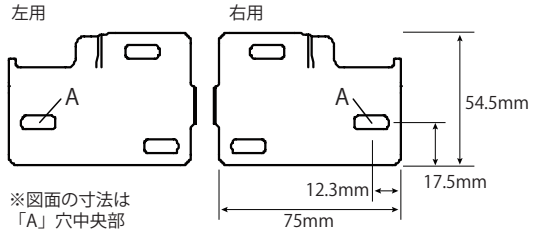
⚠ 注意

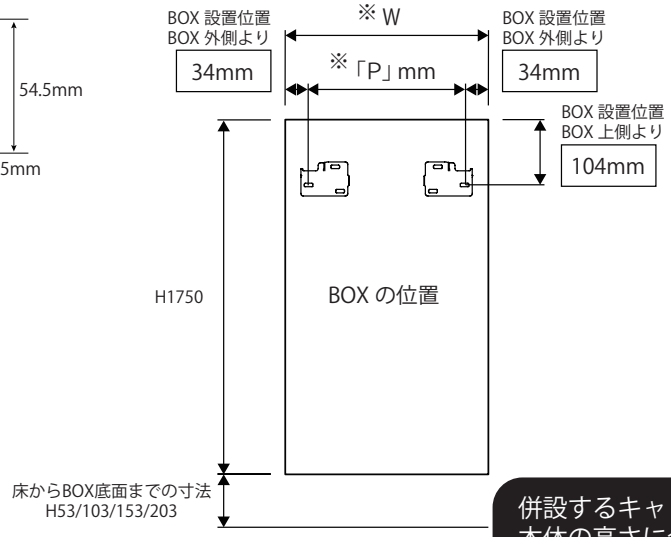
こちらの商品は単独でのご使用はできません。
必ず併設するキャビネットと左右の連結を行って下さい。
左右の連結をされていない状態で使用すると強度が不足し破損などの原因になります。
（左右連結の方法は商品説明書をご参照下さい）

設置手順（取付位置寸法図）　wash room トールキャビネット（ボトムオープン）

下地に12ミリ厚以上のJAS規格相当合板と30ミリ厚以上の補強木/構造用合板が必要です。
下地は商品から左右100mm以上はみ出して必要です。付属の型紙①を半分に切り、
BOXを設置する位置の上端側左右に合わせて貼付け、ビス位置を設定してください。

1. ブラケット取付位置寸法詳細





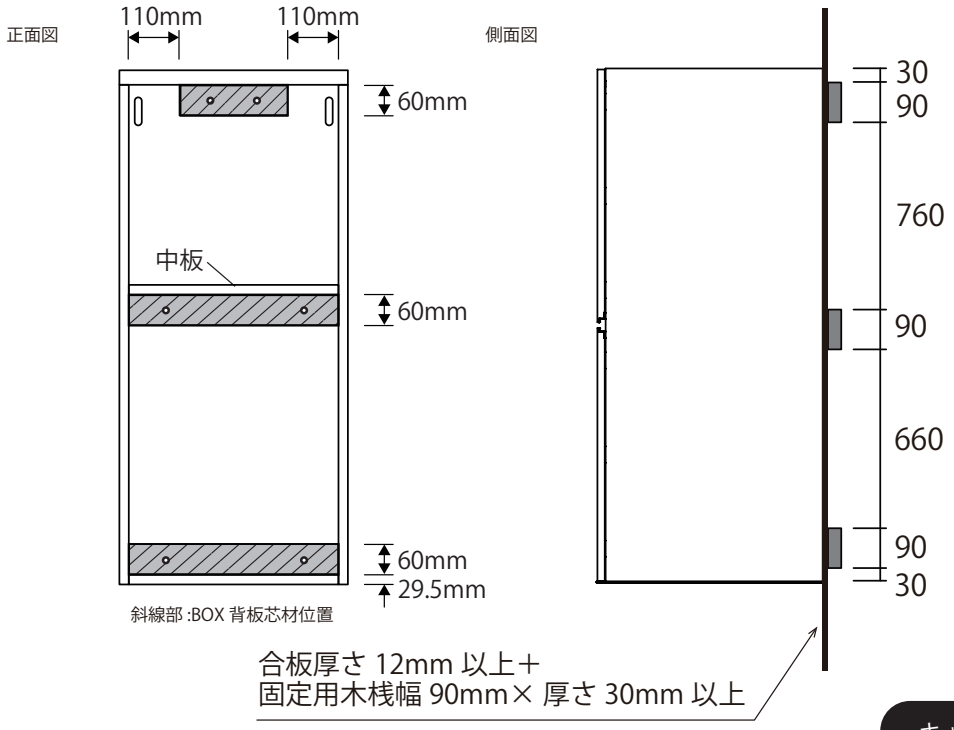
＜ブラケット取付位置寸法＞

- 幅：BOX 外側から 34mm
- 高さ：BOX 上から 104mm
- ピッチ：「P」寸法※W451タイプ：383mm

併設するキャビネット
本体の高さに合わせて下さい。

2. 下地と補強ビス取付位置寸法

BOX 背板の斜線部の範囲内で、壁面の芯材がある位置に壁付け用ビスと連結ワッシャーを取り付けて下さい。
最後にキャップを取り付けて下さい。
（グレー部 各 2 ヶ所）

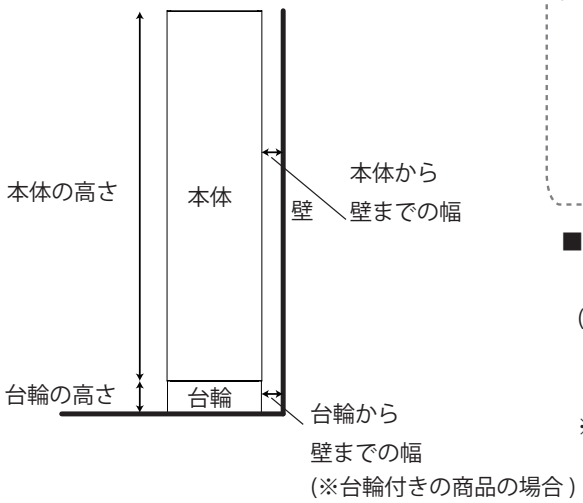


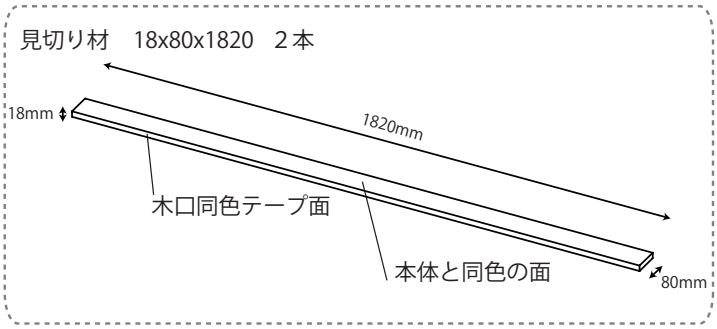
キャビネットを複数本併設する
場合は左右の連結を行って下さい。
（詳細は商品説明書をご参照下さい）

設置手順（取付位置寸法図）　（wash room 見切り材）　※施工は必ず２名以上で行ってください。

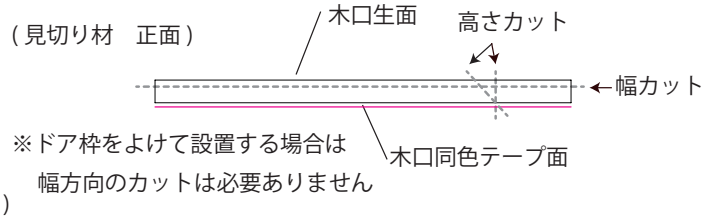
1. 見切り材・設置詳細

■本体を設置してから見切り材の下記寸法を計測して下さい。
（本体の設置は本体の施工手順を参照して下さい。）



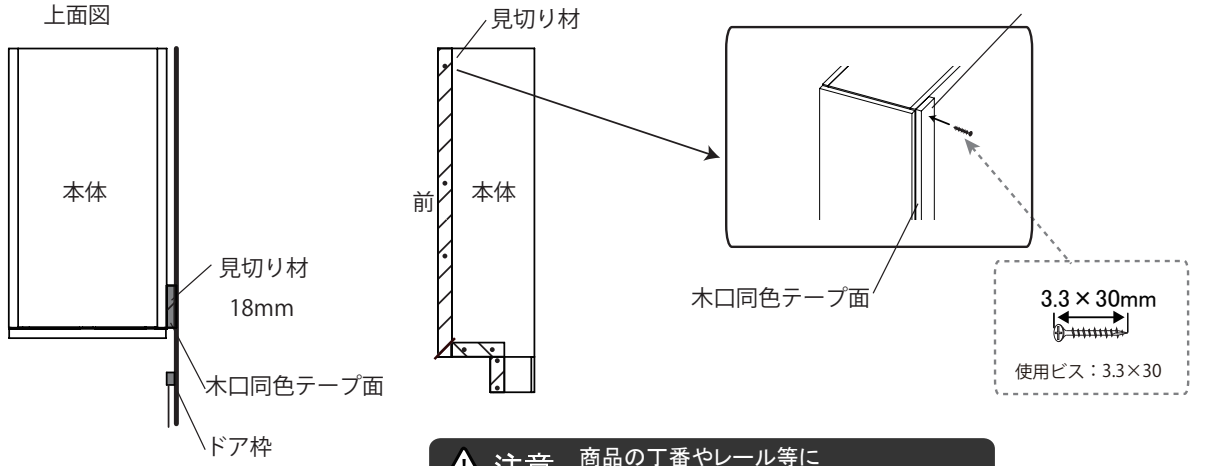


■見切り材を計測した寸法に応じてカットして下さい。



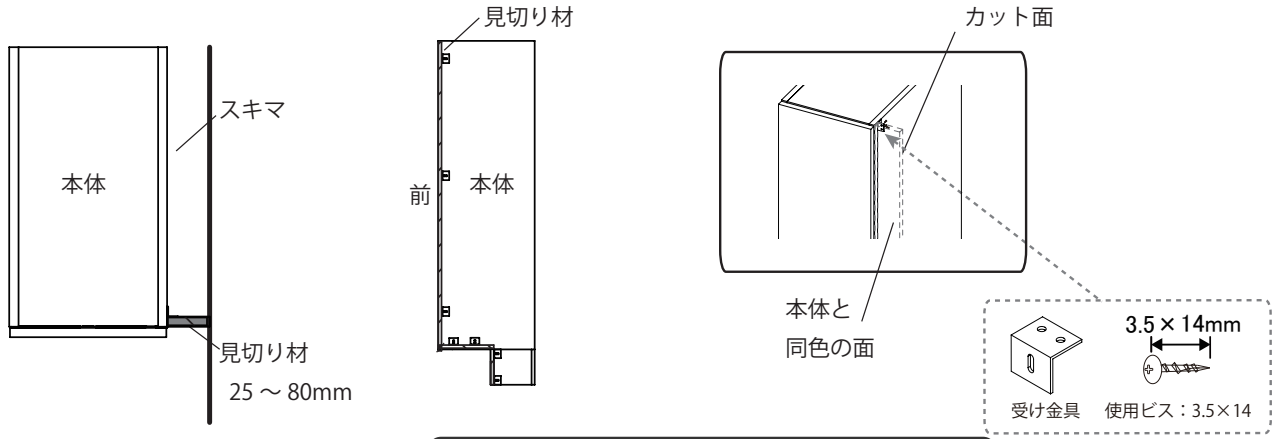
※ドア枠をよけて設置する場合は
幅方向のカットは必要ありません

A ドア枠をよけて設置する場合



⚠ 注意　商品の丁番やレール等に
干渉しない位置にビスを取り付けて下さい。

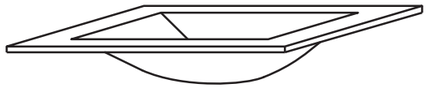
B スキマを埋めて設置する場合



⚠ 注意　商品の丁番やレール等に
干渉しない位置にビスを取り付けて下さい。

設置手順（取付位置寸法図）　（wash room　A1）　（洗面ボウル取付）

洗面ボウル：A1 タイプ



施工前にこの施工手順書をよく読み、正しく施工してください。
施工される前に品番および輸送時の破損・傷の確認をお願いいたします。
その後の責任は負いかねますのでご注意ください。

施工に関する厳守事項／注意事項

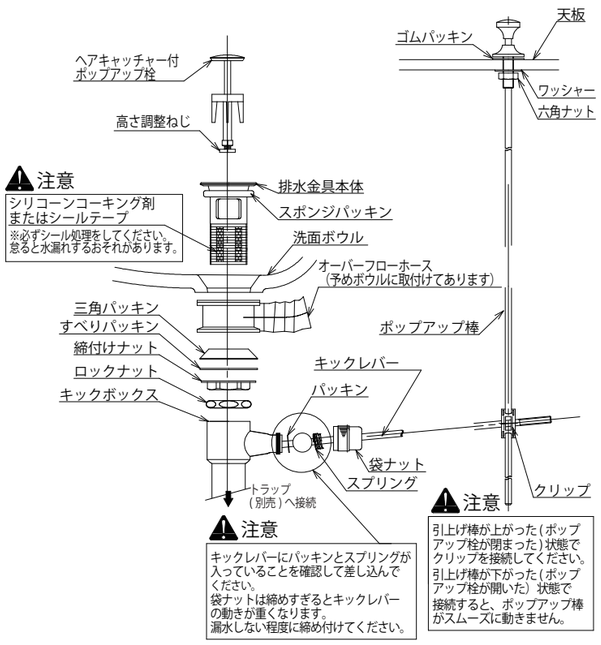
1. 水漏れを防止するために次のことを必ず守ってください。
・各部品を取付ける順番、パッキンの位置・向きなどを下図にてご確認の上、正しく取付けてください。
・下図にあるように、金属製排水金具の排水金具本体のネジ山部分には、シリコーンコーキング材を塗布するか、シールテープを巻いて必ずシール処理をしてください。(怠ると水漏れするおそれがあります。)

2. 排水金具の締め込みが甘いと水漏れするおそれがあるため、グラつかなくなるまでしっかり締め付けてください。
・締め付ける際は工具を用いて締め付けてください。

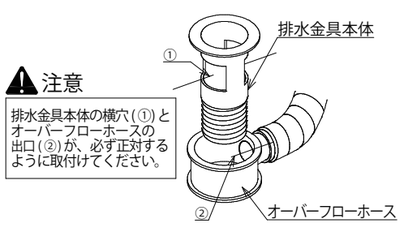
取付け完了後は、水溜めと排水を繰り返し行い、オーバーフローホース、排水金具、トラップの各接続部からの水漏れがないか確認してください。

1.、排水金具取付詳細

■排水金具を図の順番で取り付けて下さい。



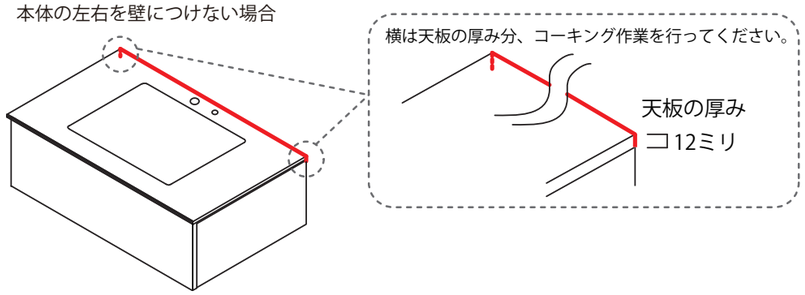
排水金具本体を取り付ける際の注意



2. コーキング詳細

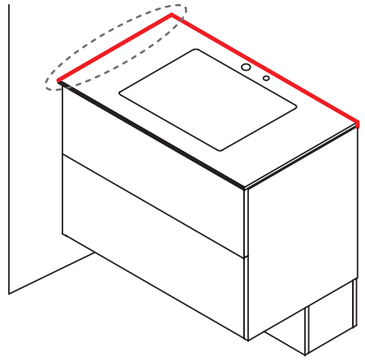
■図の太線のところにコーキング作業を行ってください。
※フロアタイプキャビネット、フロートタイプキャビネット共通です。
（図は商品、サイズによって異なります。）

本体の左右を壁につけない場合



本体の左右を壁につける場合

天板の壁に接する部分にコーキング作業を行ってください。



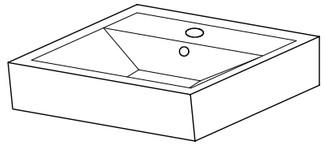
⚠ 注意
必ずコーキング作業を行ってください。
水漏れの原因になります。

⚠ 注意
壁に接する天板周りも必ずコーキング作業を行ってください。

水栓設置につきましては水栓に付属の説明書をご確認ください。

設置手順（取付位置寸法図）　（wash room　J1）　(洗面ボウル取付)

洗面ボウル：J1 タイプ



施工前にこの施工手順書をよく読み、正しく施工してください。
施工される前に品番および輸送時の破損・傷の確認をお願いいたします。
その後の責任は負いかねますのでご注意ください。

施工に関する厳守事項／注意事項

1. 水漏れを防止するために次のことを必ず守ってください。
・各部品を取付ける順番、パッキンの位置・向きなどを下図／右図にてご確認の上、正しく取付けてください。
・右図にあるように、排水器具のネジ山部分には、必ずシール材を塗布してください。(怠ると水漏れするおそれがあります。)

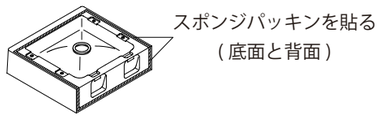
2. 金具の締め込みが甘いと水漏れするおそれがあるため、グラつかなくなるまでしっかり締め付けてください。
・締め付ける際は工具を用いて締め付けてください。

取付け完了後は、水溜めと排水を繰り返し行い、排水金具、トラップの各接続部からの水漏れがないか確認してください。

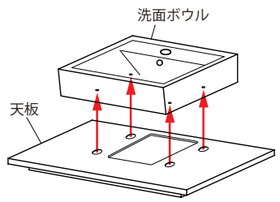
1. 洗面ボウル設置詳細

■以下の手順に沿って洗面ボウルを天板に設置してください。

①洗面ボウルの天板と壁に接する部分 (底面と背面の外縁) に、
防水用のスポンジパッキンを隙間のないように貼付けます。



②洗面ボウルを天板の取付位置に置き、双方の取付穴の
位置をあわせます。



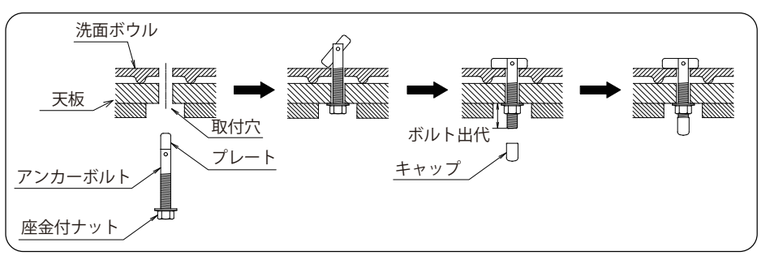
③座金付きナットにアンカーボルトを 2 山程度ねじ込みます。

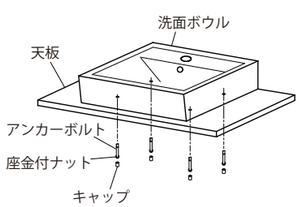
④アンカーボルトのプレートを立て、取付穴に差込みます。

⑤アンカーボルトのプレートを倒し、ボルトを引き、抜けないことを確認します。
※ボルトの出代が約 33mm であれば正常です。

⑥座金付ナットを締付け、洗面ボウルを固定します。

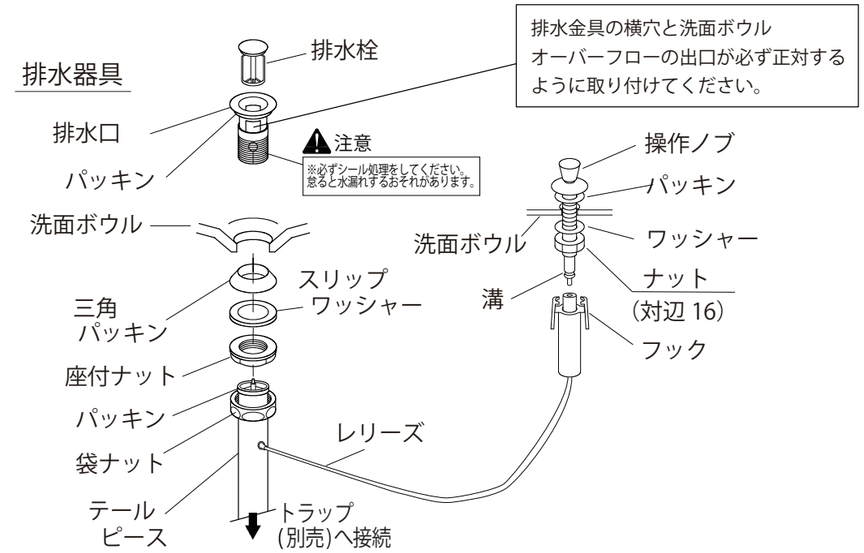
⑦ねじにキャップを取付けます。





2. 排水器具取付詳細

■洗面ボウルに排水器具を取付け、排水管に接続してください。
（ナットは工具で確実に締め付けてください。）
※排水口の三角パッキンが当たるねじ部位にシール材を塗布してください。

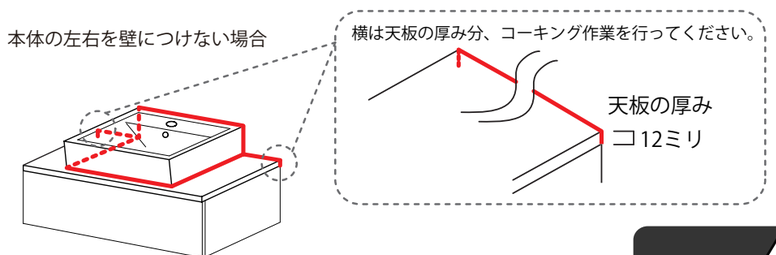


水栓設置につきましては水栓に付属の説明書をご確認ください。

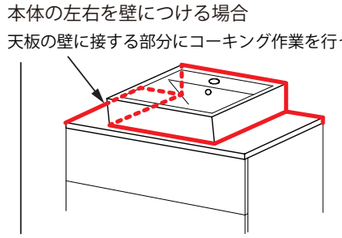
3. コーキング詳細

■図の太線のところにコーキング作業を行ってください。
※フロアタイプキャビネット、フロートタイプキャビネット共通です。
(図は商品、サイズによって異なります。)

本体の左右を壁につけない場合



本体の左右を壁につける場合
天板の壁に接する部分にコーキング作業を行ってください。

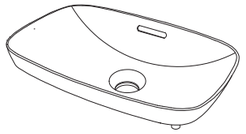


⚠ 注意
必ずコーキング作業を行ってください。
水漏れの原因になります。

⚠ 注意
壁に接する天板周りも必ずコーキング作業を行ってください。

設置手順（取付位置寸法図）　（wash room　Y1）　(洗面ボウル取付)

洗面ボウル：Y1 タイプ



施工前にこの施工手順書をよく読み、正しく施工してください。
施工される前に品番および輸送時の破損・傷の確認をお願いいたします。
その後の責任は負いかねますのでご注意ください。

施工に関する厳守事項／注意事項

1. 水漏れを防止するために次のことを必ず守ってください。
・各部品を取付ける順番、パッキンの位置・向きなどを下図／右図にてご確認の上、正しく取付けてください。

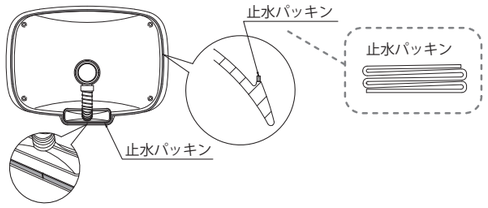
2. 金具の締め込みが甘いと水漏れするおそれがあるため、グラつかなくなるまでしっかり締め付けてください。
・締め付ける際は工具を用いて締め付けてください。

取付け完了後は、水溜めと排水を繰り返し行い、オーバーフローホース、排水金具、トラップの各接続部からの水漏れがないか確認してください。

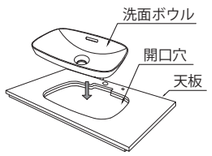
1. 排水器具取付・洗面ボウル設置詳細

■以下の手順に沿って洗面ボウルを天板に設置してください。

①貼り付ける面の汚れやホコリ等を拭き取り、止水パッキンを洗面ボウル下面に貼り付けてください。
※洗面ボウルの後部から隙間なく貼り付けてください。

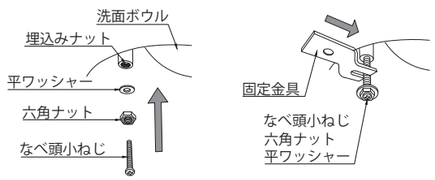


②天板に洗面ボウルを天板の上から穴にはめ込みます。
※洗面ボウルは天板に対して水平に置いてください。

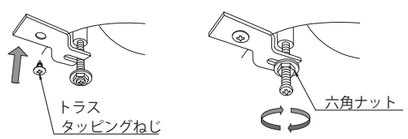


③部品を順に組み合わせ、ドライバーを使用して固定してください。
その後、図のように固定金具を取り付けてください。

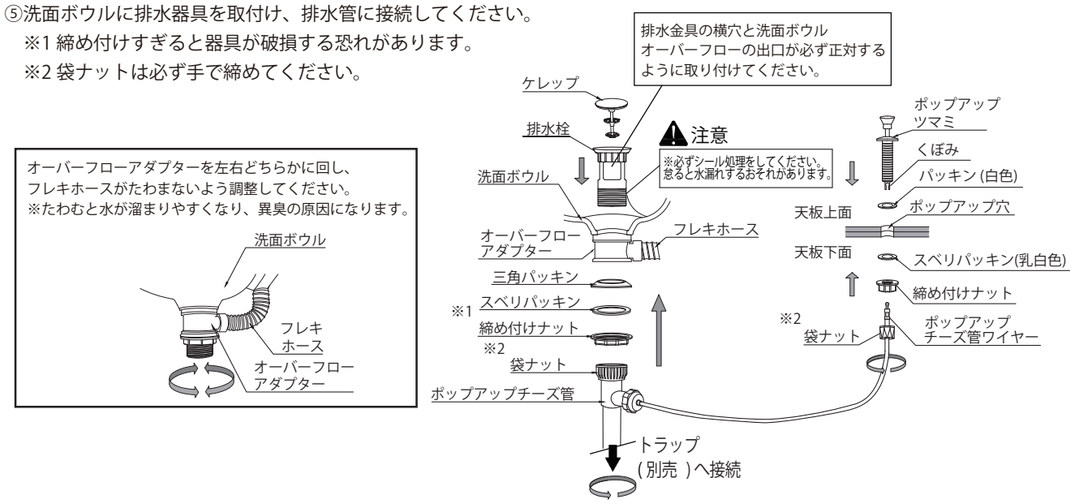
⚠ 注意
電動ドライバーやインパクトドライバーのご使用は避けてください。
洗面ボウルが破損する恐れがあります。



④電動ドライバーやインパクトドライバーを使用して固定金具をトラスタッピングねじで固定し、六角ナットを締め付けてください。



⑤洗面ボウルに排水器具を取付け、排水管に接続してください。
※1 締め付けすぎると器具が破損する恐れがあります。
※2 袋ナットは必ず手で締めてください。

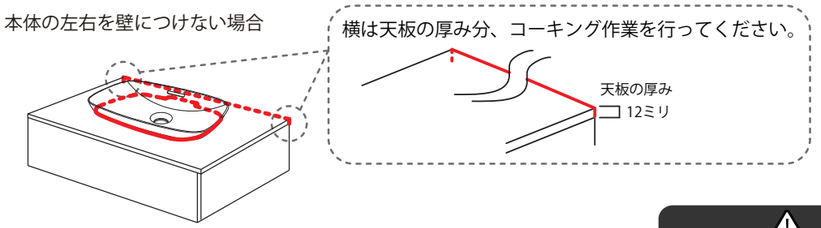


水栓設置につきましては水栓に付属の説明書をご確認ください。

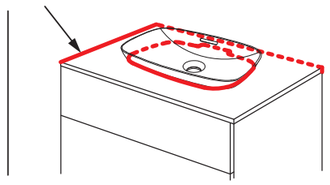
2. コーキング詳細

■図の太線のところにコーキング作業を行ってください。
※フロアタイプキャビネット、フロートタイプキャビネット共通です。
(図は商品、サイズによって異なります。)

本体の左右を壁につけない場合



本体の左右を壁につける場合
天板の壁に接する部分にコーキング作業を行ってください。



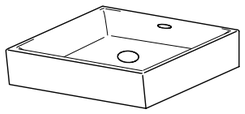
⚠ 注意
必ずコーキング作業を行ってください。
水漏れの原因になります。

⚠ 注意
壁に接する天板周りも必ずコーキング作業を行ってください。

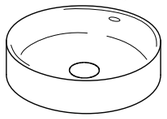
設置手順（取付位置寸法図）　（wash room　N1、N2）　(洗面ボウル取付)

洗面ボウル：N1 タイプ、N2 タイプ

N1 タイプ



N2 タイプ



施工前にこの施工手順書をよく読み、正しく施工してください。
施工される前に品番および輸送時の破損・傷の確認をお願いいたします。
その後の責任は負いかねますのでご注意ください。

施工に関する厳守事項／注意事項

1. 水漏れを防止するために次のことを必ず守ってください。
・各部品を取付ける順番、パッキンの位置・向きなどを下図にてご確認の上、正しく取付けてください。

2. 金具の締め込みが甘いと水漏れするおそれがあるため、グラつかなくなるまでしっかり締め付けてください。
・締め付ける際は工具を用いて締め付けてください。

取付け完了後は、水溜めと排水を繰り返し行い、排水金具、トラップの各接続部からの水漏れがないか確認してください。

1. 排水器具取付・洗面ボウル設置詳細

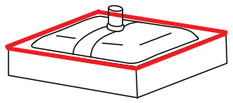
■以下の手順に沿って洗面ボウルを天板に設置してください。

①排水金具 (全体) の部品に過不足ないか確認します。

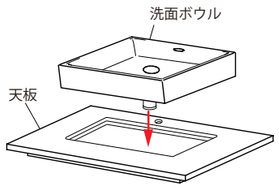
②右図の B を取り外し、A 部品と B 部品に分けます。
洗面ボウルの排水口に A 部品を上から差し込みます。
※排水金具の横穴とボウルオーバーフローの出口が必ず正対するように取り付けてください。

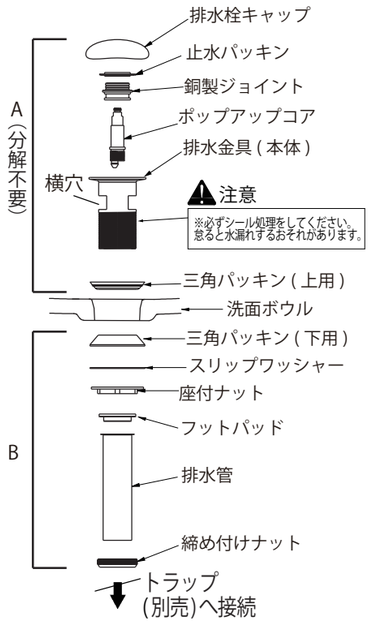
③洗面ボウルの下から B 部品を順に締め付けます。
※三角パッキンの向きに注意し、隙間がないように固定してください。

④洗面ボウル底面外周部にシリコン系コーキング剤を塗布します。



⑤排水金具を取り付けた洗面ボウルを天板の上から穴にはめ込みます。





洗面ボウルのメンテナンスについて

日常のお手入れは、濡れた布に中性洗剤をつけて拭いてください。
硬いブラシや研磨剤入りのスポンジは使用しないでください。

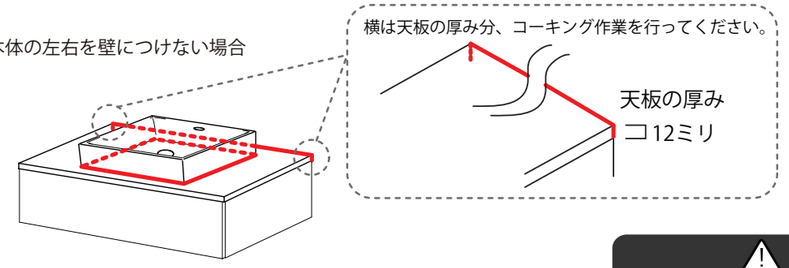
傷の補修は、小さな傷は少量の歯磨き粉を柔らかい布につけて拭いた後、水拭きすると目立たなくなります。

水栓設置につきましては水栓に付属の説明書をご確認ください。

2. コーキング詳細

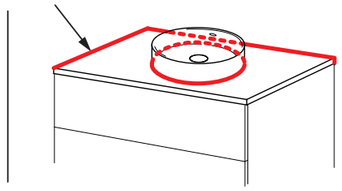
■図の太線のところにコーキング作業を行ってください。
※フロアタイプキャビネット、フロートタイプキャビネット共通です。
(図は商品、サイズによって異なります。)

本体の左右を壁につけない場合



⚠ 注意
必ずコーキング作業を行ってください。
水漏れの原因になります。

本体の左右を壁につける場合
天板の壁に接する部分にコーキング作業を行ってください。



⚠ 注意
壁に接する天板周りも必ずコーキング作業を行ってください。

設置手順（取付位置寸法図）　（天板取付）

施工前にこの施工手順書をよく読み、正しく施工してください。
施工される前に品番および輸送時の破損・傷の確認をお願いいたします。
その後の責任は負いかねますのでご注意ください。

⚠ 安全に関するご注意

■必ず標準工法・注意事項に従って施工してください。

■当製品は屋内で使用してください。

■運搬・施工は2人以上で行ってください。（天板がたわむ原因となります。）

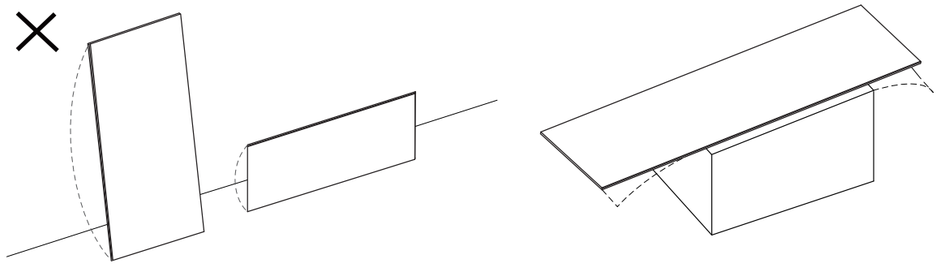
■端部・角部はもろいため、取扱いの際にはご注意ください。

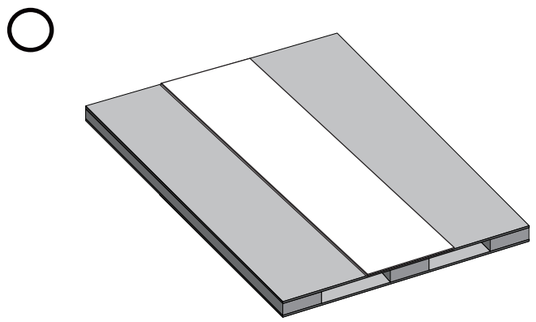
1. 在庫・保管について

■直射日光や雨のあたる場所を避け、風通しの良い屋内に保管してください。

■建築工事中は平らな場所でパレット等に平積みの上、シートをかけて養生・保全してください。

■立てかけや不安定な場所への保管は反りの原因となりますので、行わないでください。



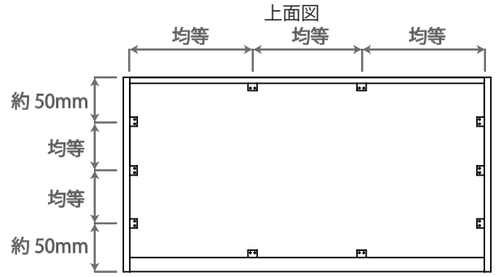


※商品の特性上破損しやすいため、取り扱いにご注意ください。

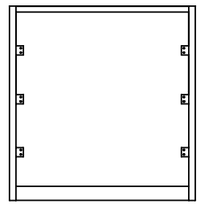
2. 本体と天板受け金具の取付詳細

■天板受け金具の取り付け数は、間口の左右では各 3 ヶ所、前後では商品サイズによって取付数が変動します。(下記図参照)
間口が 2 つ以上ある商品でも各間口ごとに取り付けて下さい。
（商品によって図やサイズが異なります。）

間口 W750 以上
左右：各 3 ヶ所　前後：各 2 ヶ所
上面図



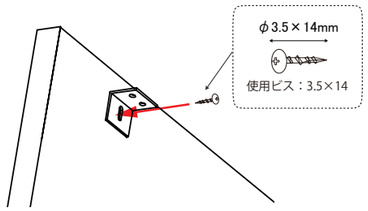
間口 W450 以下
左右：各 3 ヶ所
上面図



■上図を参考に側板、背板、幕板に天板受け金具を取り付けて下さい。

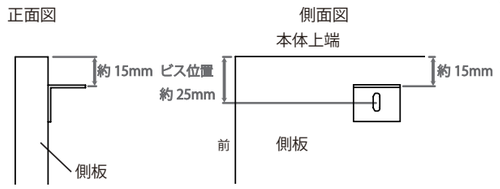
・天板受け金具の取り付け向き

天板受け金具は長穴が空いている面を
本体側にしてビスで固定して下さい。

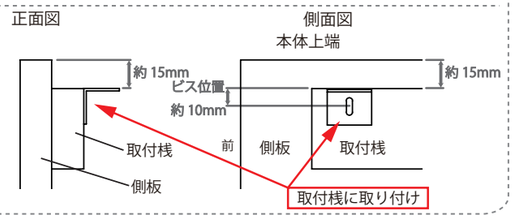


・ビス取り付け高さ位置

＜フロアタイプ＞

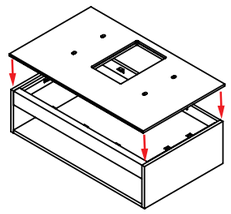


＜フロートタイプ＞

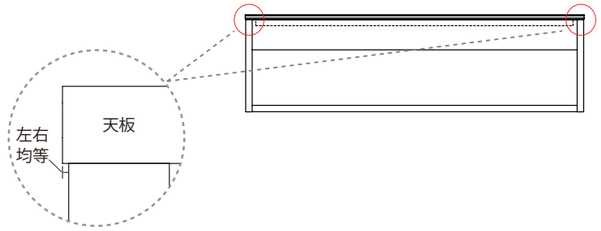


3. 天板取付詳細

■天板受け金具を取り付けたのち、天板を本体に載せて下さい。
（商品によって図やサイズが異なります。）

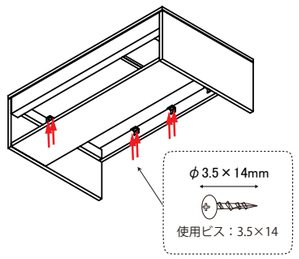


■天板の左右のチリが均等になるようにして下さい。
（商品によって図やサイズが異なります。）

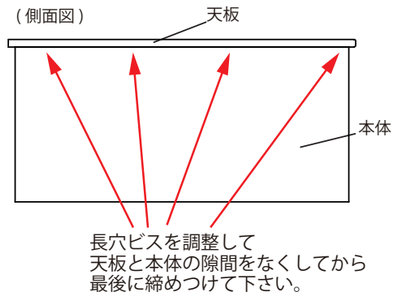


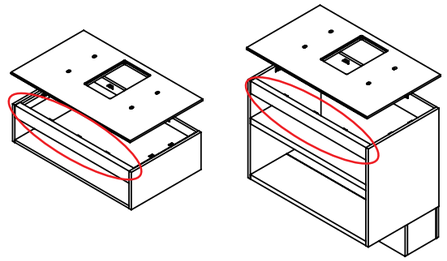
4. 天板と天板受け金具の取付詳細

■天板を本体に載せたら、下側から固定ビスで天板受け金具を
取り付けて下さい。(各 2 ヶ所)
（商品によって図やサイズが異なります。）



■引出が付く商品は手前側が取り付けにくくなっています。
L 型アダプターやフレキシブルシャフトの使用を推奨いたします。
（商品によって図やサイズが異なります。）



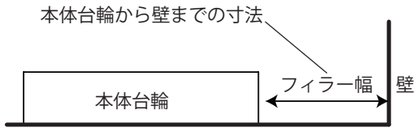


設置手順（取付位置寸法図）　（wash room フロアタイプフィラー）　※施工は必ず２名以上で行ってください。

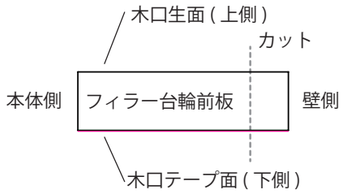
袖壁下地に 12 ミリ厚以上の JAS 規格相当合板が必要です。
袖壁下地は商品から上下左右 50mm 以上はみ出して必要です。

1. 台輪の組立・設置詳細

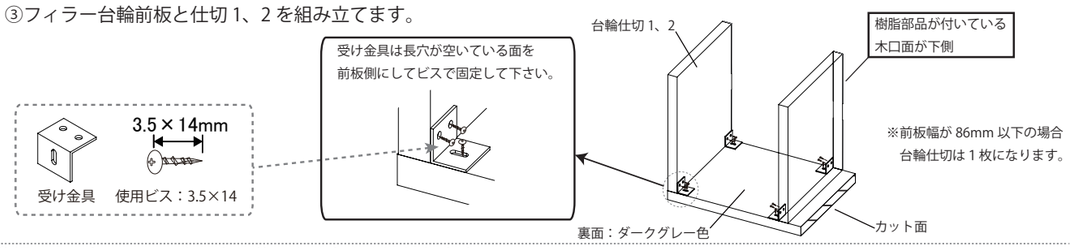
①本体台輪を設置してからフィラーの幅を計測して下さい。
(本体台輪の設置は本体の施工手順を参照して下さい。)



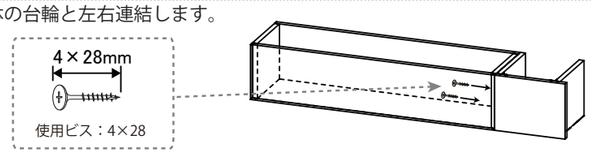
②フィラー台輪前板の壁設置側をカットして下さい。



③フィラー台輪前板と仕切 1、2 を組み立てます。

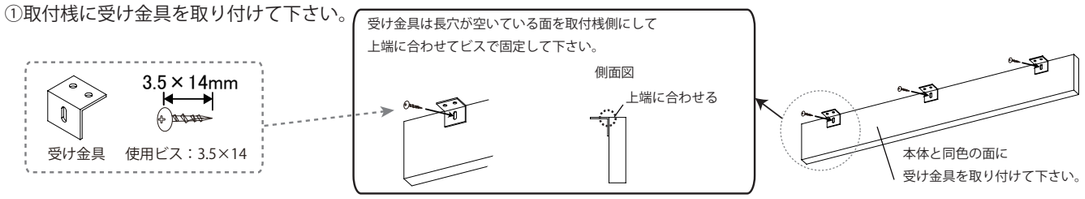


④組み立てたフィラー台輪を本体の台輪と左右連結します。

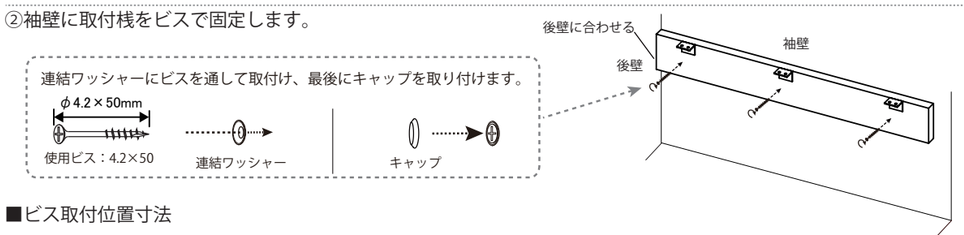


2. 取付桟の設置詳細

①取付桟に受け金具を取り付けて下さい。



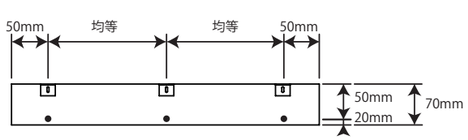
②袖壁に取付桟をビスで固定します。

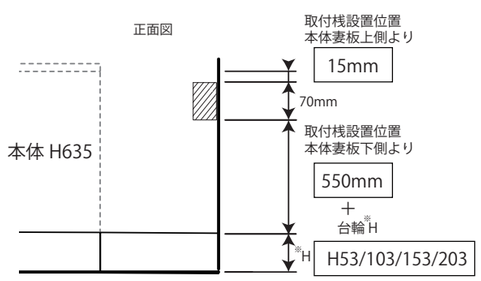


■ビス取付位置寸法

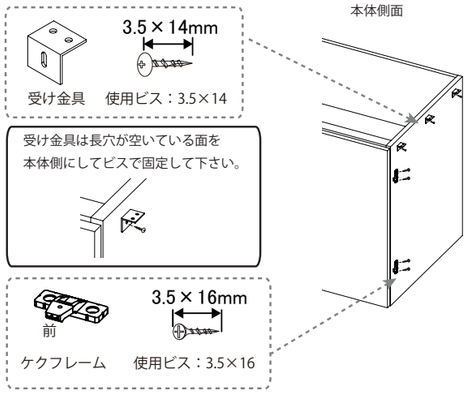
取付桟ビス位置と壁面の下地がある位置に
壁付け用ビスと連結ワッシャーを取り付けて下さい。
最後にキャップを取り付けて下さい。

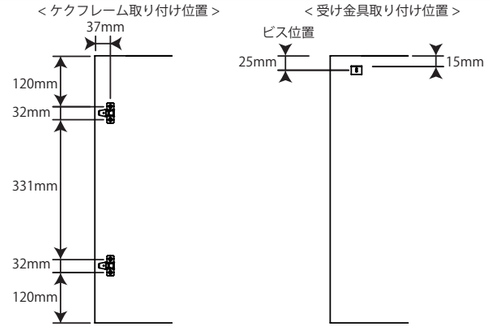
＜取付桟ビス位置＞※目安の寸法です。





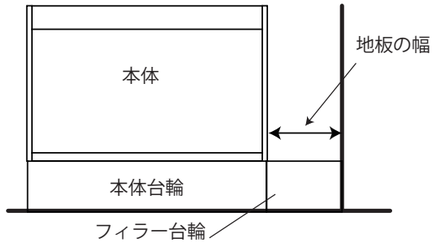
3. 本体に部品を取り付ける。



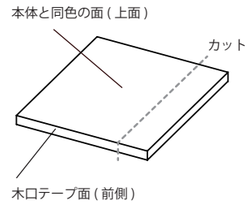


4. フィラー地板の設置詳細

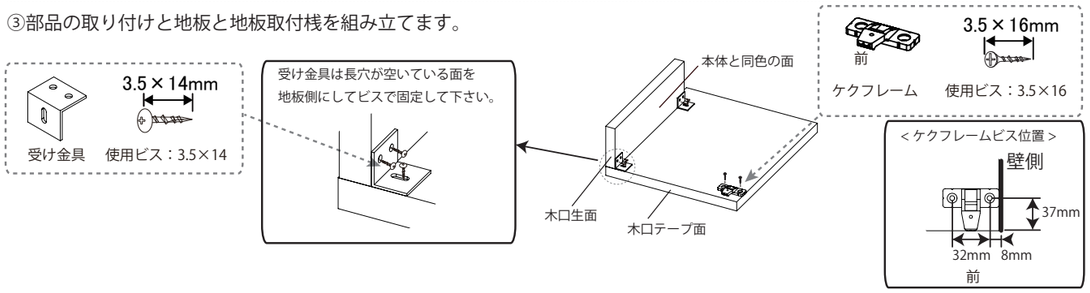
①本体設置してから地板の幅を計測して下さい。
(本体の設置は本体の施工手順を参照して下さい。)



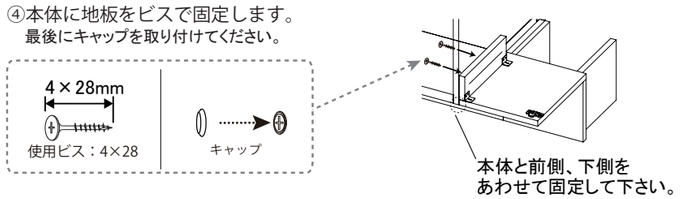
②計測した幅寸法で地板をカットして下さい。

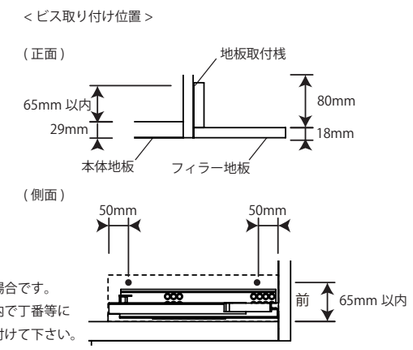


③部品の取り付けと地板と地板取付桟を組み立てます。



④本体に地板をビスで固定します。
最後にキャップを取り付けてください。





⚠ 注意　商品の丁番やレール等に
干渉しない位置に取り付けて下さい。

※図は本体引出タイプの場合です。
扉タイプも同様の寸法内で丁番等に
干渉しない位置で取り付けて下さい。

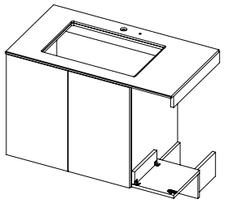
次のページあります

設置手順（取付位置寸法図）　（wash room フロアタイプフィラー）

※施工は必ず２名以上で行ってください。

5. 天板の設置

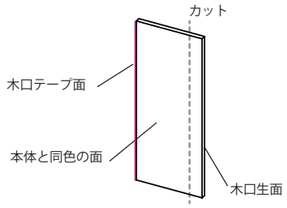
■天板の設置は天板の施工手順を参照して下さい。



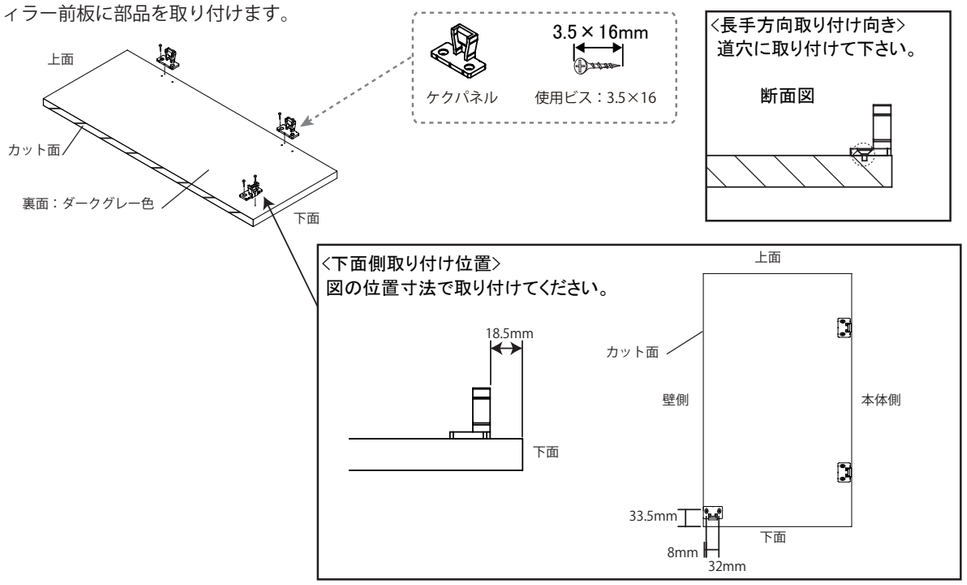
⚠ 注意　フィラー幅100mm以下の場合は
フィラー部の天板固定ビスは不要です。

6. フィラー前板の設置詳細

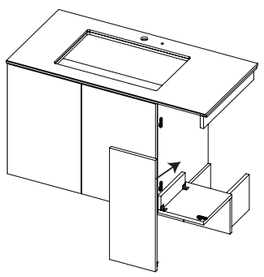
①4-①で計測した幅寸法でフィラー前板 (木口生面側) をカットして下さい。



②フィラー前板に部品を取り付けます。

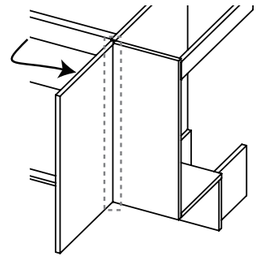


③部品を取り付けたフィラー前板をはめ込みます。



7. 本体側が開き扉の場合

■扉を開けた際に扉とフィラー前板が接触していないか確認して下さい。
接触している場合は扉の調整を行なって下さい。
(扉の調整方法は本体の商品説明書を参照して下さい。)



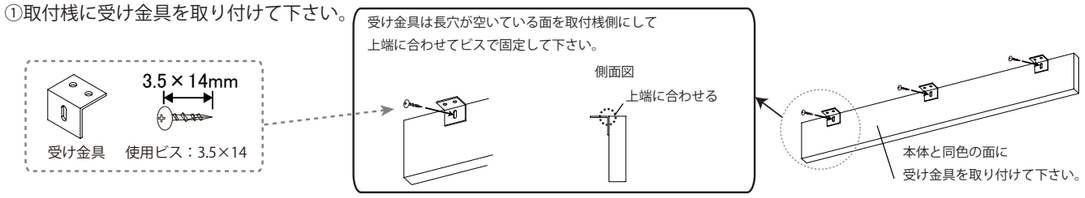
設置手順（取付位置寸法図）　（wash room オープンスペース）

※施工は必ず２名以上で行ってください。

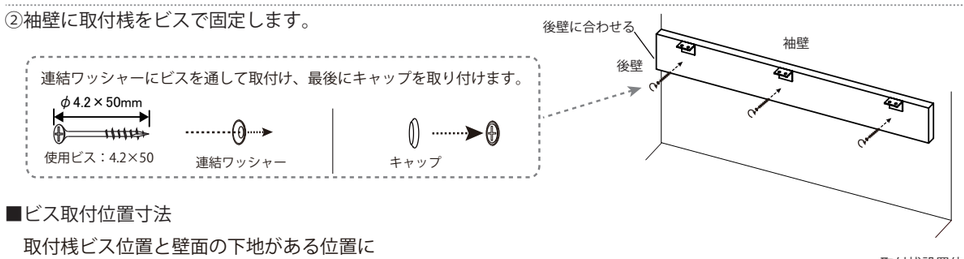
袖壁下地に 12 ミリ厚以上の JAS 規格相当合板が必要です。
袖壁下地は商品から上下左右 50mm 以上はみ出して必要です。

1. 取付桟の設置詳細

①取付桟に受け金具を取り付けて下さい。



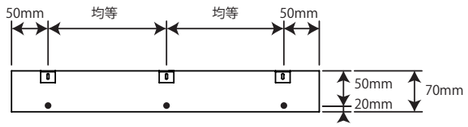
②袖壁に取付桟をビスで固定します。

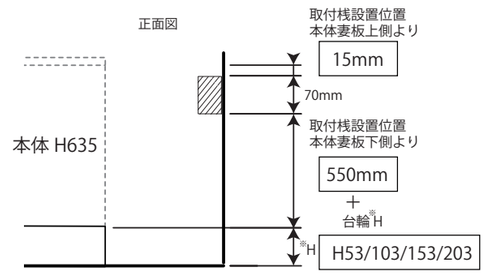


■ビス取付位置寸法

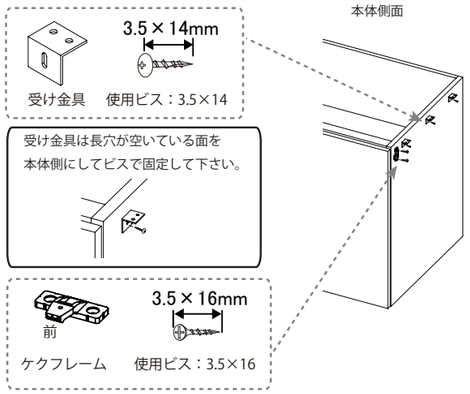
取付桟ビス位置と壁面の下地がある位置に
壁付け用ビスと連結ワッシャーを取り付けて下さい。
最後にキャップを取り付けて下さい。

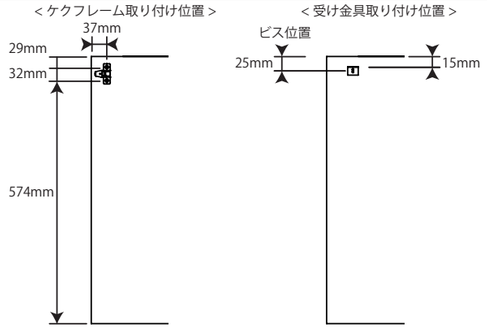
＜取付桟ビス位置＞※目安の寸法です。





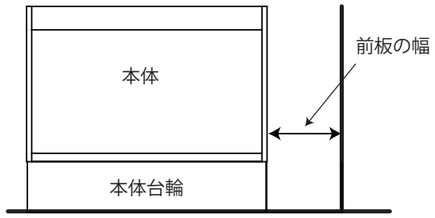
2. 本体に部品を取り付ける。



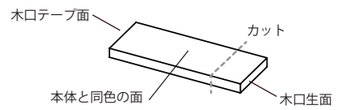


3. フィラー前板の設置詳細

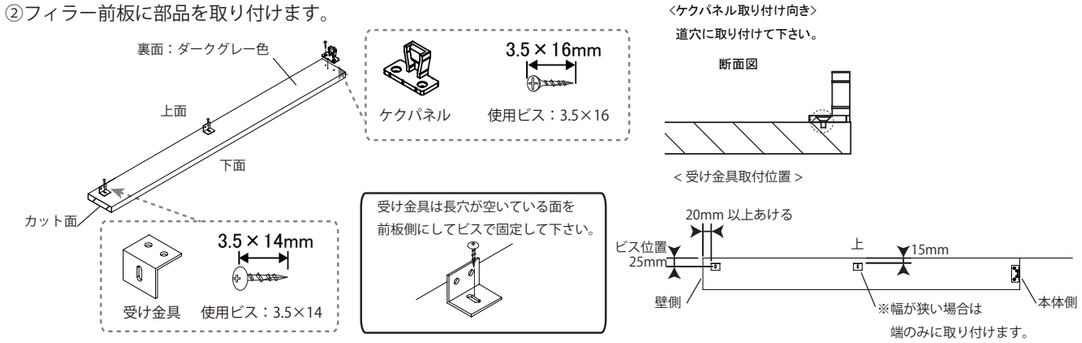
①本体設置してから前板の幅を計測して下さい。
(本体の設置は本体の施工手順を参照して下さい。)



②計測した幅寸法で前板 (木口生面側) をカットして下さい。



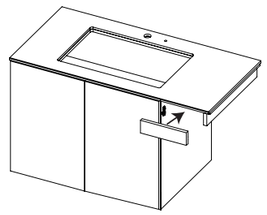
②フィラー前板に部品を取り付けます。



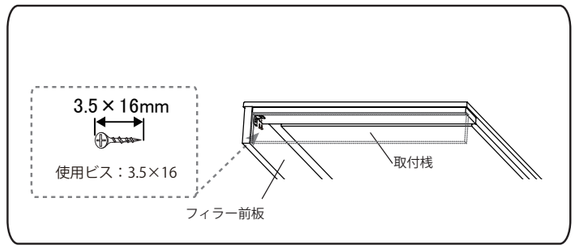
③天板を設置します。
天板の設置は天板の施工手順を参照して下さい。

⚠ 注意　フィラー幅100mm以下の場合は
フィラー部の天板固定ビスは不要です。

④部品を取り付けたフィラー前板をはめ込みます。

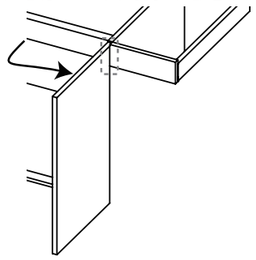


はめ込み後、フィラー前板と天板をビスで固定して下さい (各１～２箇所)



4. 本体側が開き扉の場合

■扉を開けた際に扉とフィラー前板が接触していないか確認して下さい。
接触している場合は扉の調整を行なって下さい。
(扉の調整方法は本体の商品説明書を参照して下さい。)



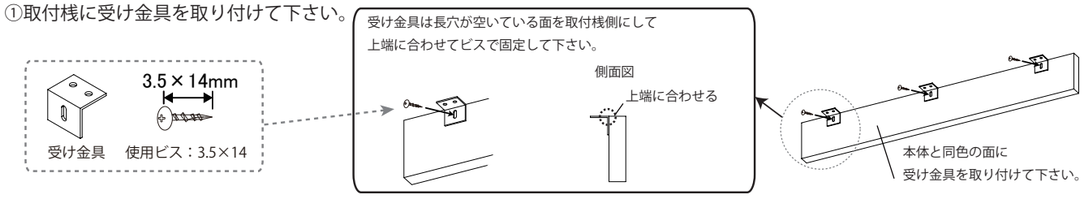
設置手順（取付位置寸法図）　（wash room フロートタイプフィラー）

※施工は必ず２名以上で行ってください。

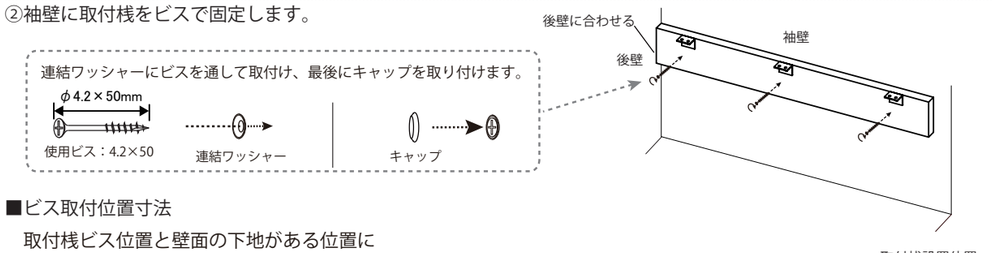
袖壁下地に 12 ミリ厚以上の JAS 規格相当合板が必要です。
袖壁下地は商品から上下左右 50mm 以上はみ出して必要です。

1. 取付桟の設置詳細

①取付桟に受け金具を取り付けて下さい。



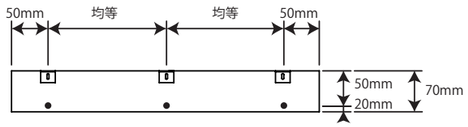
②袖壁に取付桟をビスで固定します。

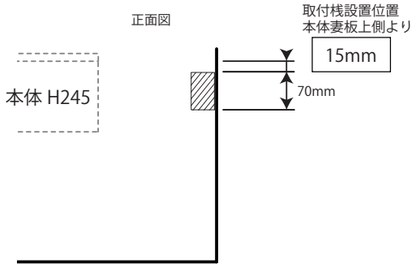


■ビス取付位置寸法

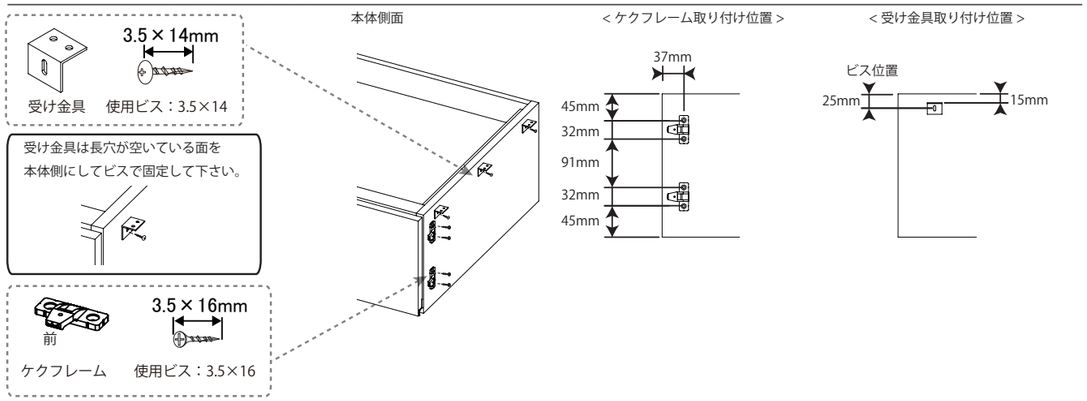
取付桟ビス位置と壁面の下地がある位置に
壁付け用ビスと連結ワッシャーを取り付けて下さい。
最後にキャップを取り付けて下さい。

＜取付桟ビス位置＞※目安の寸法です。



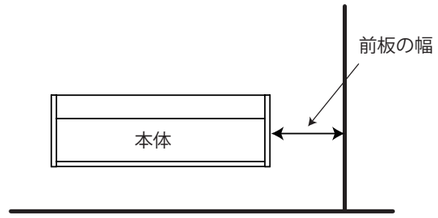


2. 本体に部品を取り付ける。

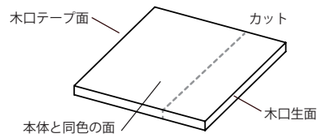


3. フィラー前板の設置詳細

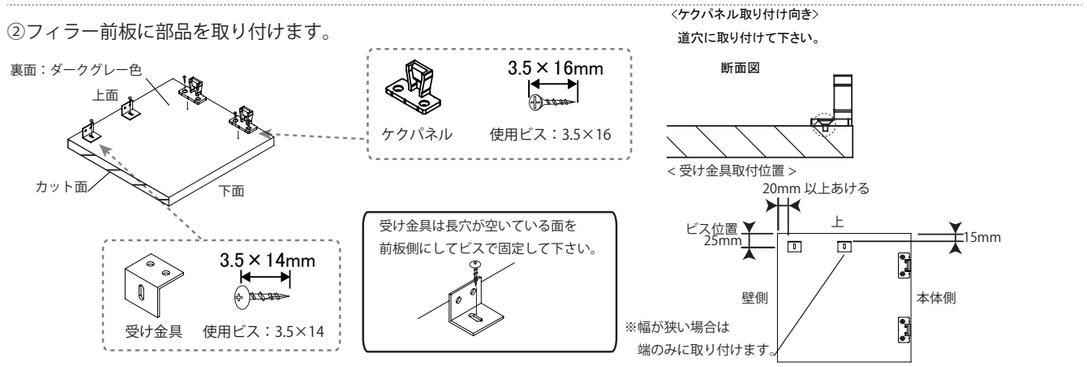
①本体設置してから前板の幅を計測して下さい。
(本体の設置は本体の施工手順を参照して下さい。)



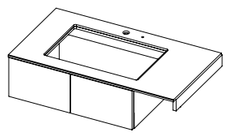
②計測した幅寸法で前板 (木口生面側) をカットして下さい。



②フィラー前板に部品を取り付けます。

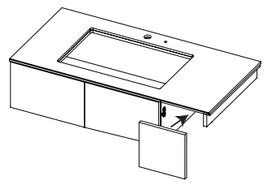


③天板を設置します。
天板の設置は天板の施工手順を参照して下さい。

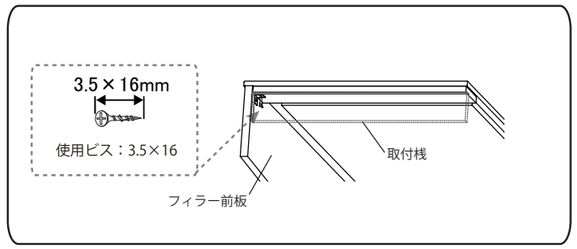


⚠注意　フィラー幅100mm以下の場合は
フィラー部の天板固定ビスは不要です。

④部品を取り付けたフィラー前板をはめ込みます。



はめ込み後、フィラー前板と天板をビスで固定して下さい (各１～２箇所)



設置手順 (ブラケット金具取付共通)　※施工は必ず２名以上で行ってください。

1. ブラケットを壁に固定します。

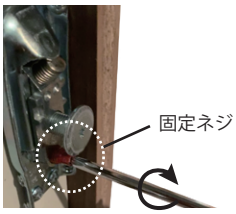
左用と右用はつながっています。中央線部で折って切り離してからご使用ください。

※図の向き（切り欠き部が外側で上向き）
取付位置寸法は各タイプの「取付位置寸法図」を参照して下さい。

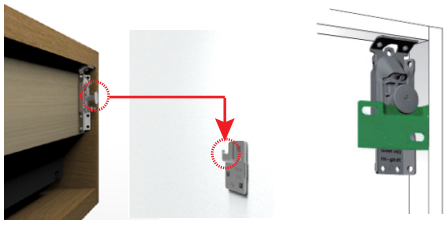
使用ビス：3.8×45

2.BOX をブラケットに引っかけます。

（1）BOX 背面側より取付金具の固定ネジを右に回してネジ山が見えなくなるぐらいにしておきます。(両サイド行って下さい)



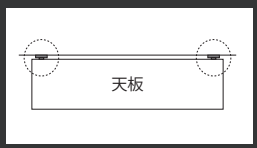
（2）取付金具の出っ張り部を壁に取り付けたブラケットの切り欠き部にひっかけます。



引っかけた状態

重要

両サイドともブラケットに引っかかっているか天板上部より確認してください。



3. 取付け位置の調整をします。

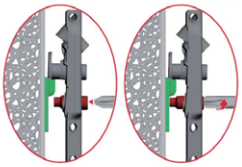
BOX の内側から取付け金具の調整ネジを下記手順で調整を行って下さい。(引出が付いている場合は引出を外して行って下さい)
①前後調整ネジ を回して壁との隙間を 2 ～ 3mm にして下さい。(商品本体手前側を少し持ち上げながら調整ネジを回して下さい)
②上下調整ネジをまわして BOX の位置を調整してください。
③再び前後調整ネジを回して壁との隙間をなくして下さい。
④調整後、赤色の固定ネジをブラケットに当たるまで回し、固定してください。

BOX の内側：
背板上部の左右にあります。

②上下調整ネジ（調整代 13mm）
※BOX の高さ方向や傾きを調整します。
(右に回すと商品高さが上がります。
左に回すと商品高さが下がります。
それぞれの箇所を調整して高さや水平をあわせて下さい。)

①③前後調整ネジ（調整代 12mm）
※BOX と壁面の隙間がなくなるまで引き込んでください。
(工場出荷時は BOX が一番手前にある状態となりますので右に回して BOX と壁の隙間を調整して下さい。)

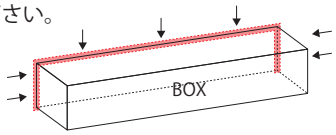
④固定ネジ
固定ネジがブラケットに当たるまでまわして下さい。



※④固定ビスイメージ

4. 取付け確認をします。

壁と天板・側板の間に隙間がないか確認を行って下さい。

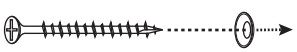


5. キャップを取り付けします。

取付け金具の調整ネジ部に、
付属のキャップを取り付けます。

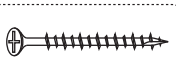
6. 補強ビスを取り付けます。
(複数の BOX がある場合は全ての BOX の位置調整を先に行って下さい)

BOX をしっかり固定するため補強ビスを取り付けます。取付位置寸法は別紙参照
取り付け方：連結ワッシャーにビスを通して取付け、最後にキャップを取り付けます。



補強固定ビス　連結ワッシャー

キャップ

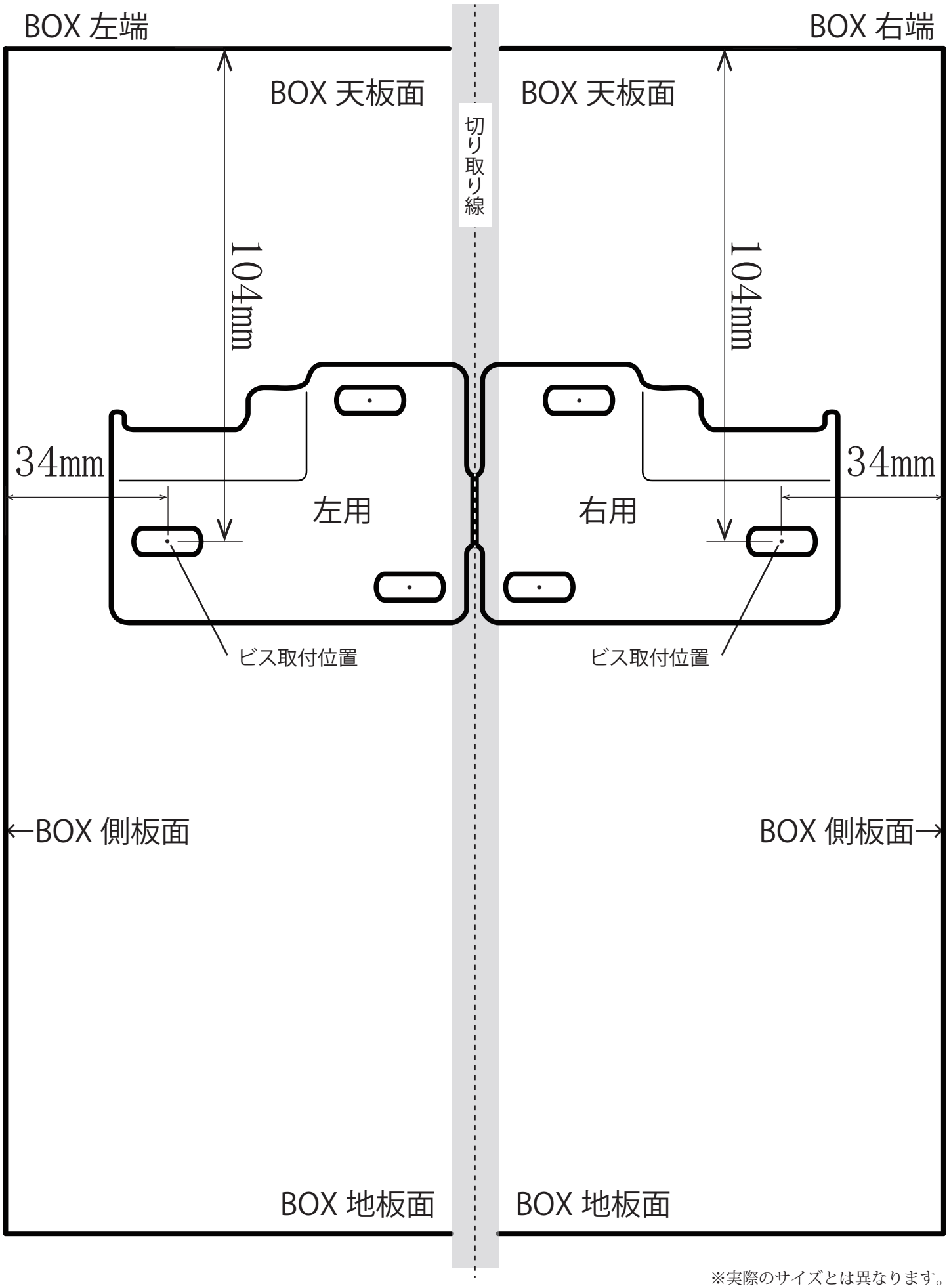


使用ビス：4.2×75

MARGIN CABINET
施工動画

（ブラケット取付位置　型紙①）

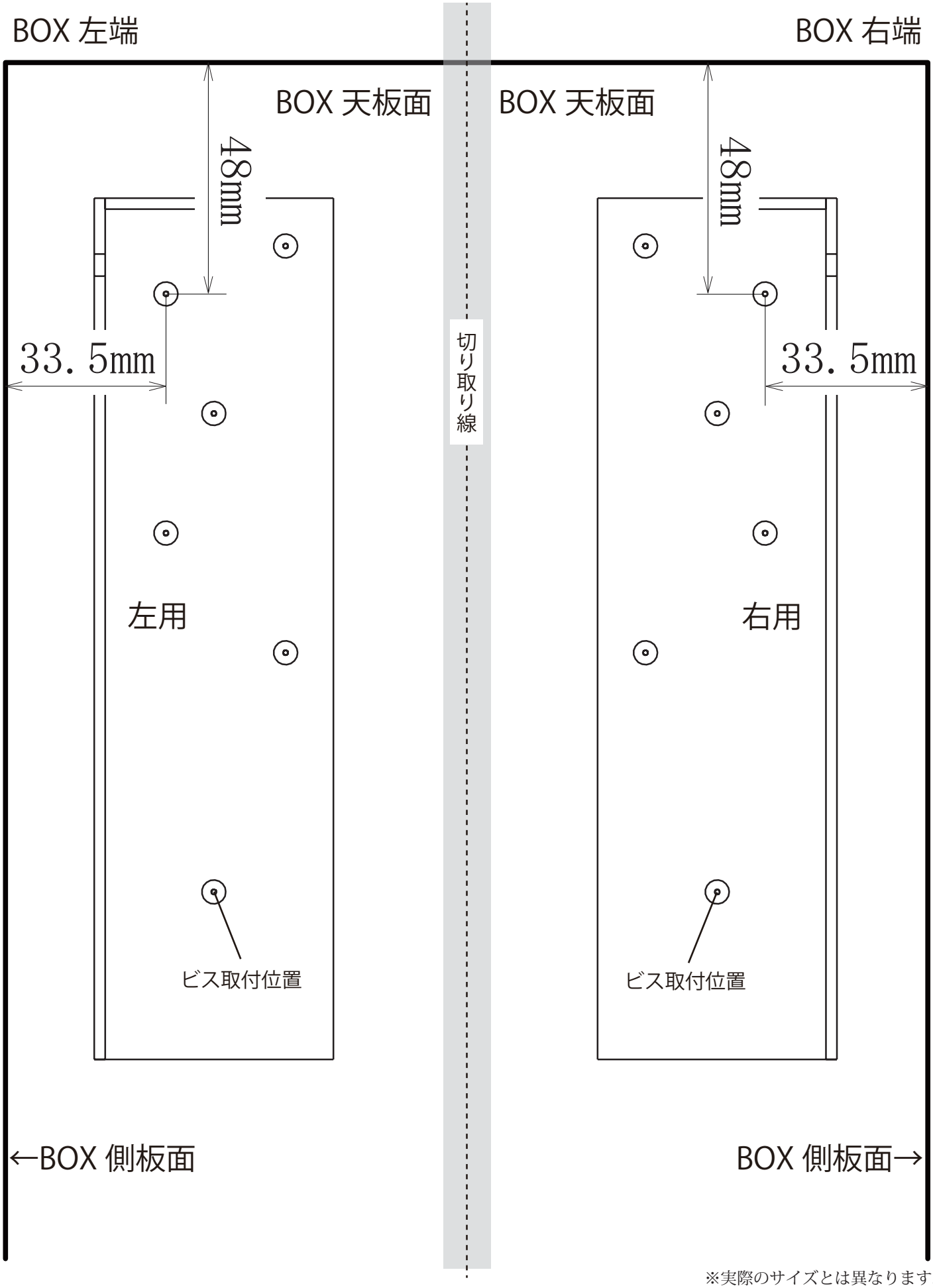
20220506



※実際のサイズとは異なります。

20260430

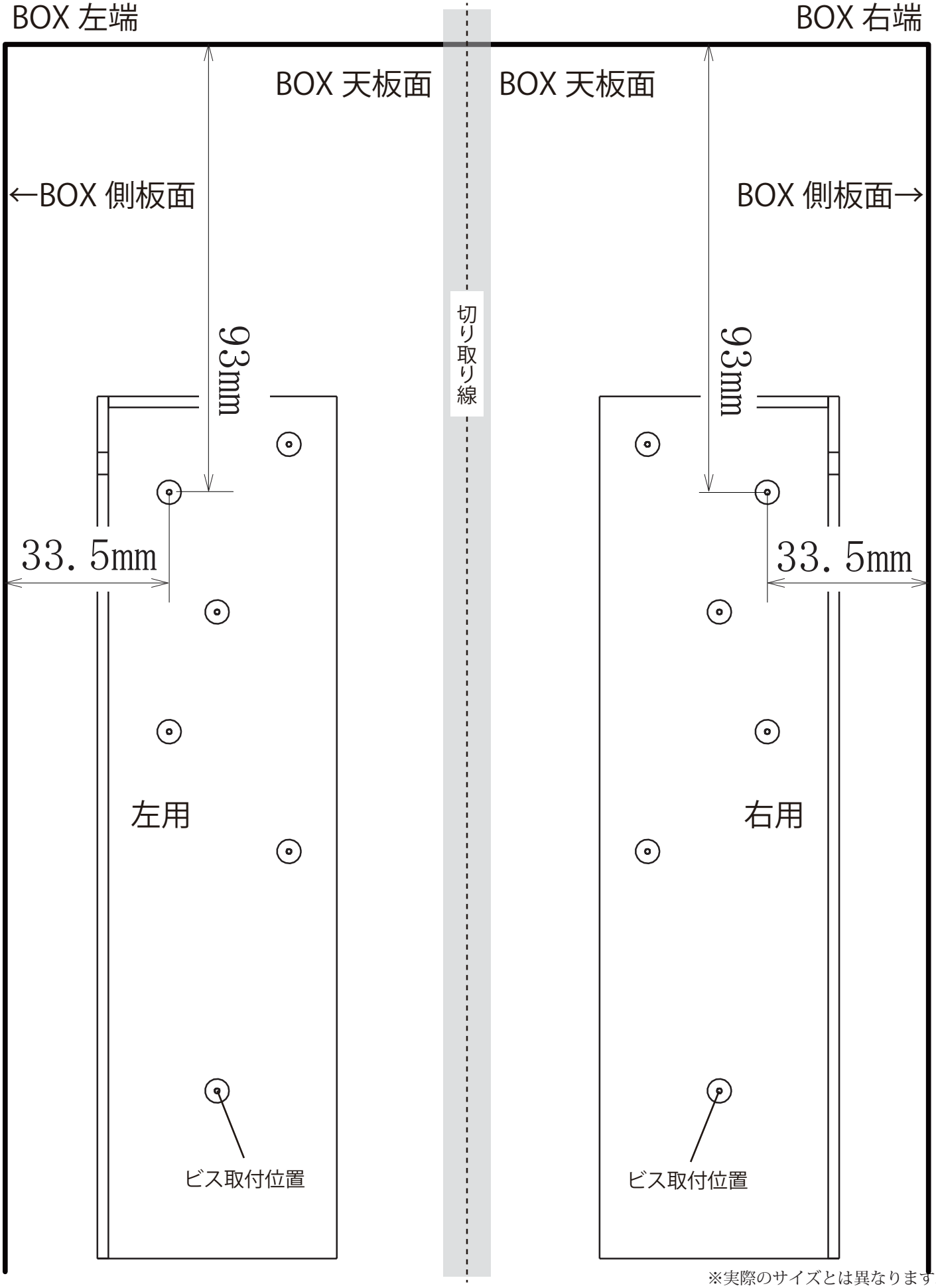
（洗面受け金具取付位置　型紙 D）



※実際のサイズとは異なります。

20260430

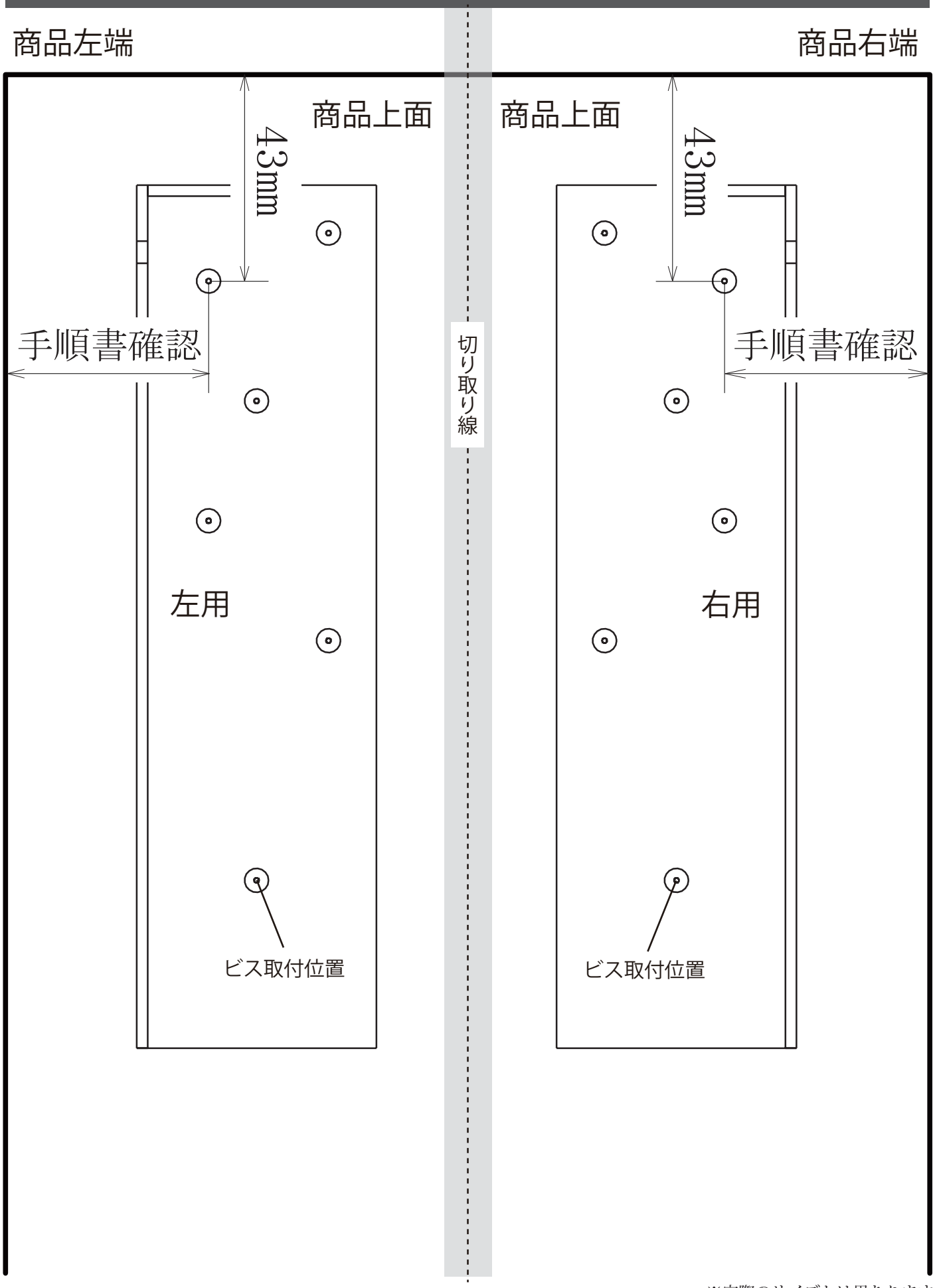
（洗面受け金具取付位置　型紙 E）



※実際のサイズとは異なります。

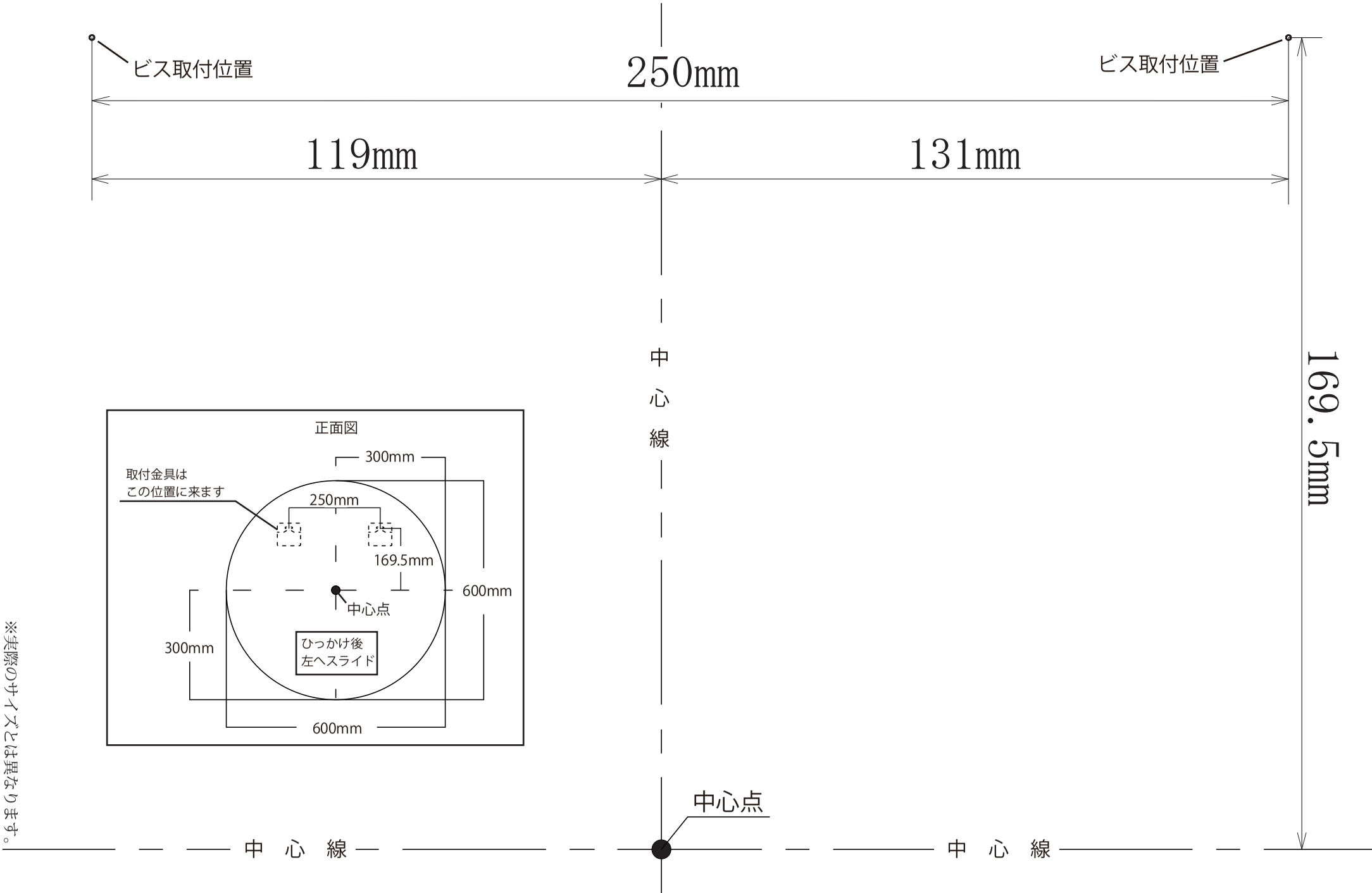
20260430

（洗面受け金具取付位置　型紙 F）



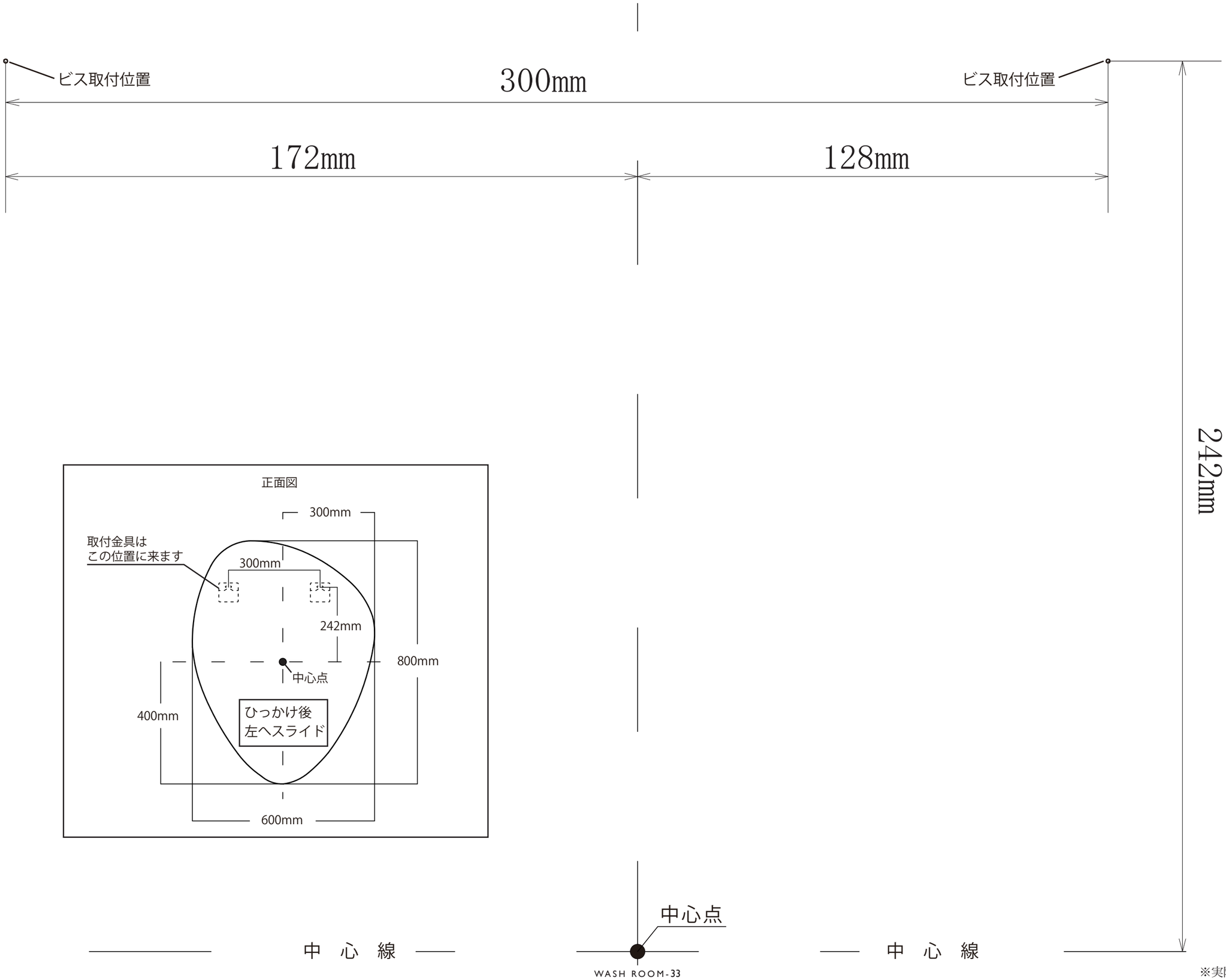
※実際のサイズとは異なります。

（LED ミラー 丸型取付位置　型紙 G）



※実際のサイズとは異なります。

（LED ミラー 異型取付位置　型紙 H）



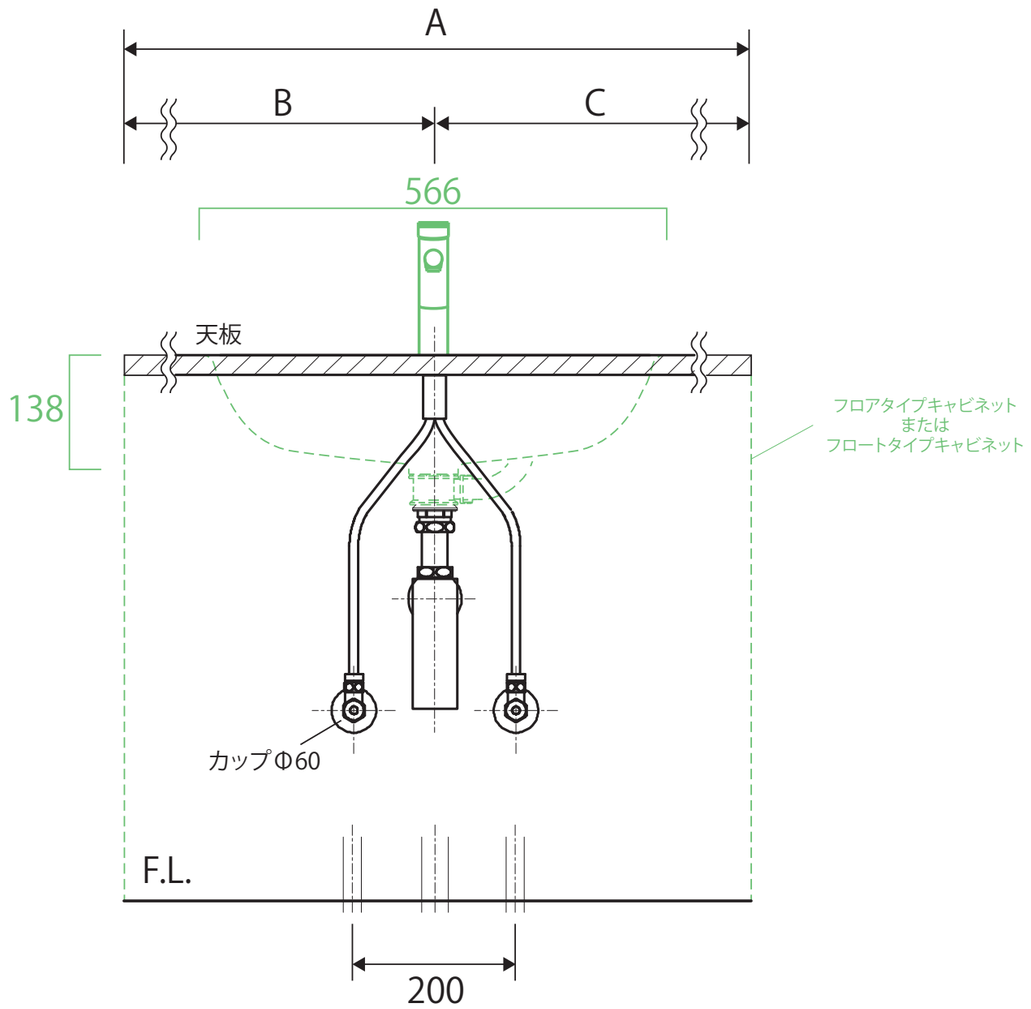
※実際のサイズとは異なります。

給排水位置図　　ボウル種類：Ⓐ1 シームレスアンダー

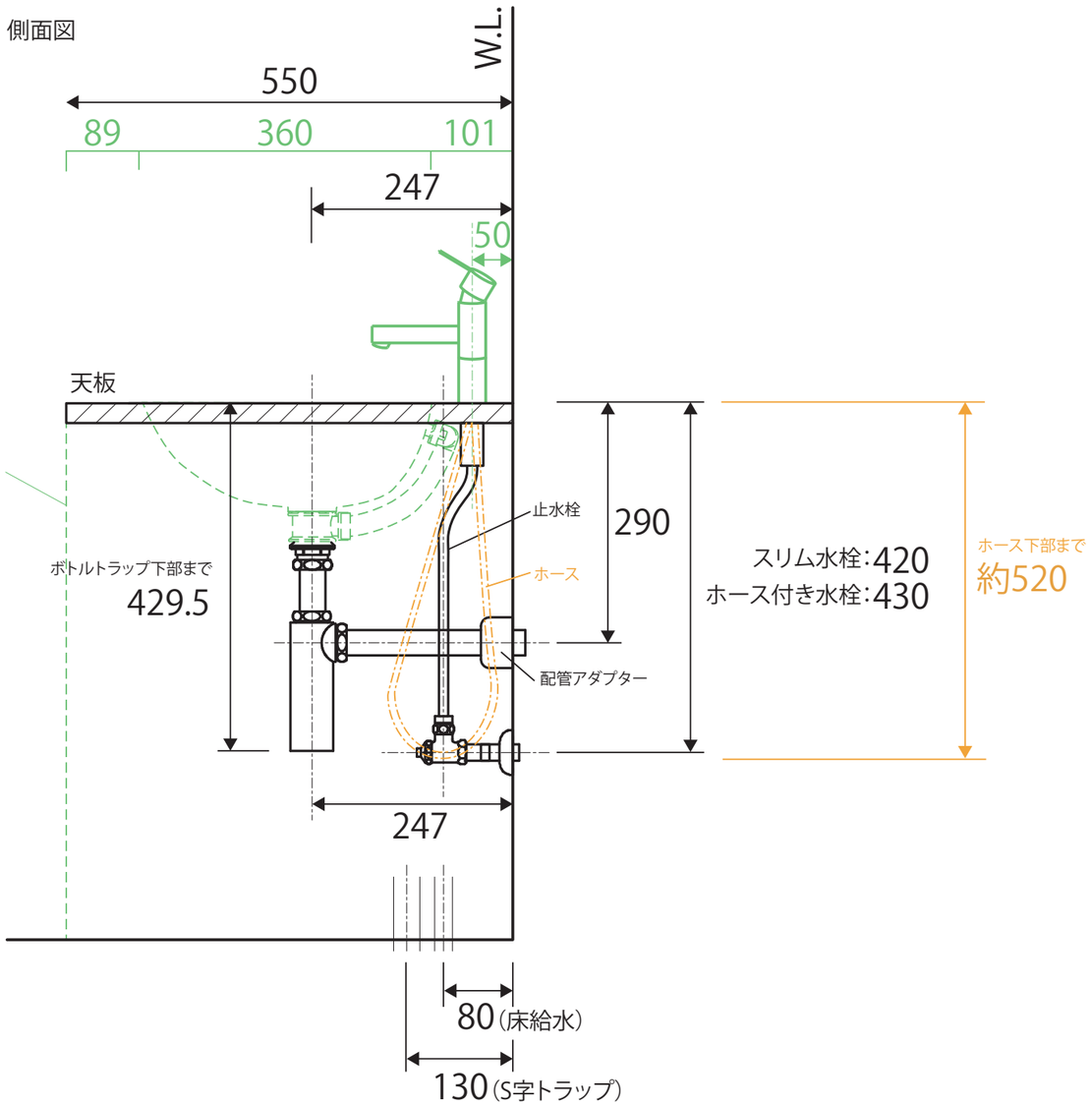
2026/07/30

単位：ミリ（mm）

正面図



側面図



詳細寸法一覧

ボウル位置：センター

天板幅	A	B	C
750	750	375	375
900	900	450	450
1000	1000	500	500

ボウル位置：左寄せ

天板幅	A	B	C
1200	1200	450	750
1350	1350	450	900
1500	1500	375	1125
1650	1650	412.5	1237.5
1800	1800	450	1350

ボウル位置：右寄せ

天板幅	A	B	C
1200	1200	750	450
1350	1350	900	450
1500	1500	1125	375
1650	1650	1237.5	412.5
1800	1800	1350	450

ボウル位置：ダブル

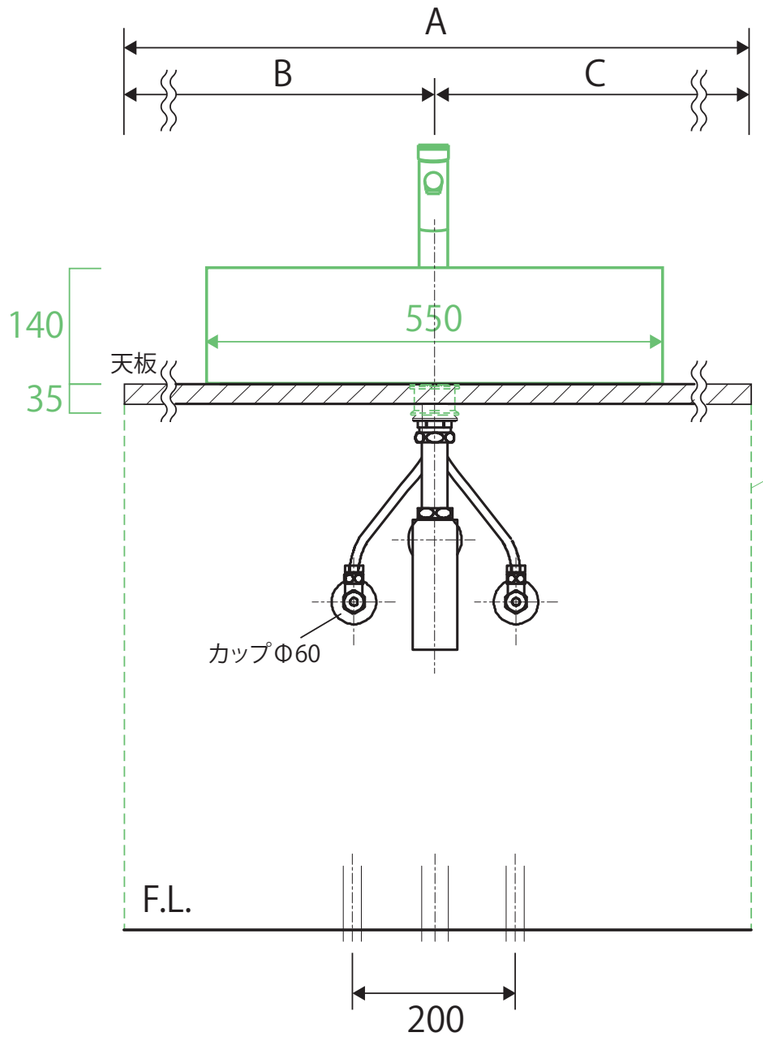
天板幅	A	B	中央ピッチ（水栓間）	C
1500	1500	375	750	375
1650	1650	412.5	825	412.5
1800	1800	450	900	450

給排水位置図　　ボウル種類：(J1) ベッセル

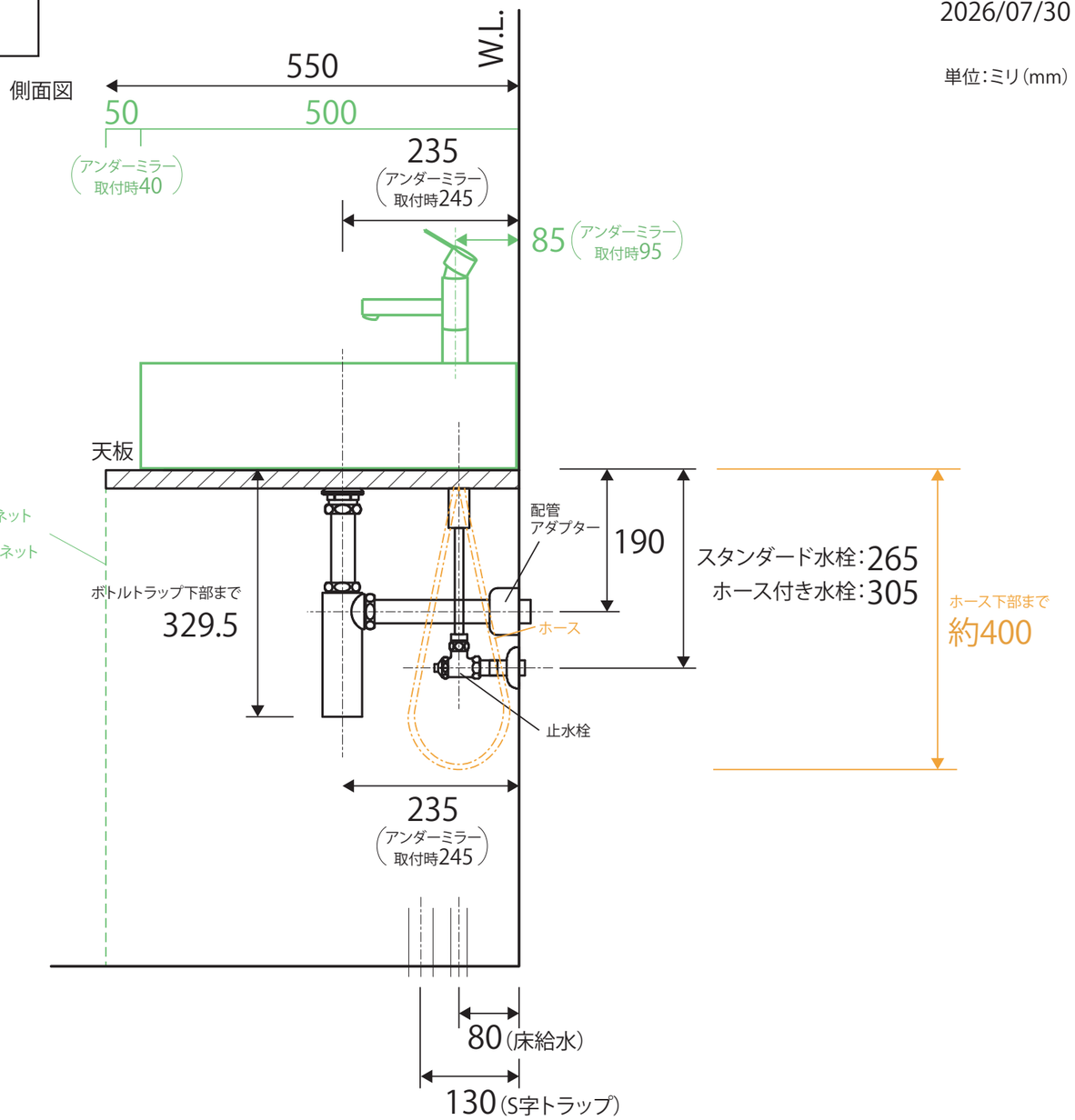
2026/07/30

単位：ミリ(mm)

正面図



側面図



詳細寸法一覧

ボウル位置：センター

天板幅	A	B	C
750	750	375	375
900	900	450	450
1000	1000	500	500

ボウル位置：左寄せ

天板幅	A	B	C
1200	1200	450	750
1350	1350	450	900
1500	1500	375	1125
1650	1650	412.5	1237.5
1800	1800	450	1350

ボウル位置：右寄せ

天板幅	A	B	C
1200	1200	750	450
1350	1350	900	450
1500	1500	1125	375
1650	1650	1237.5	412.5
1800	1800	1350	450

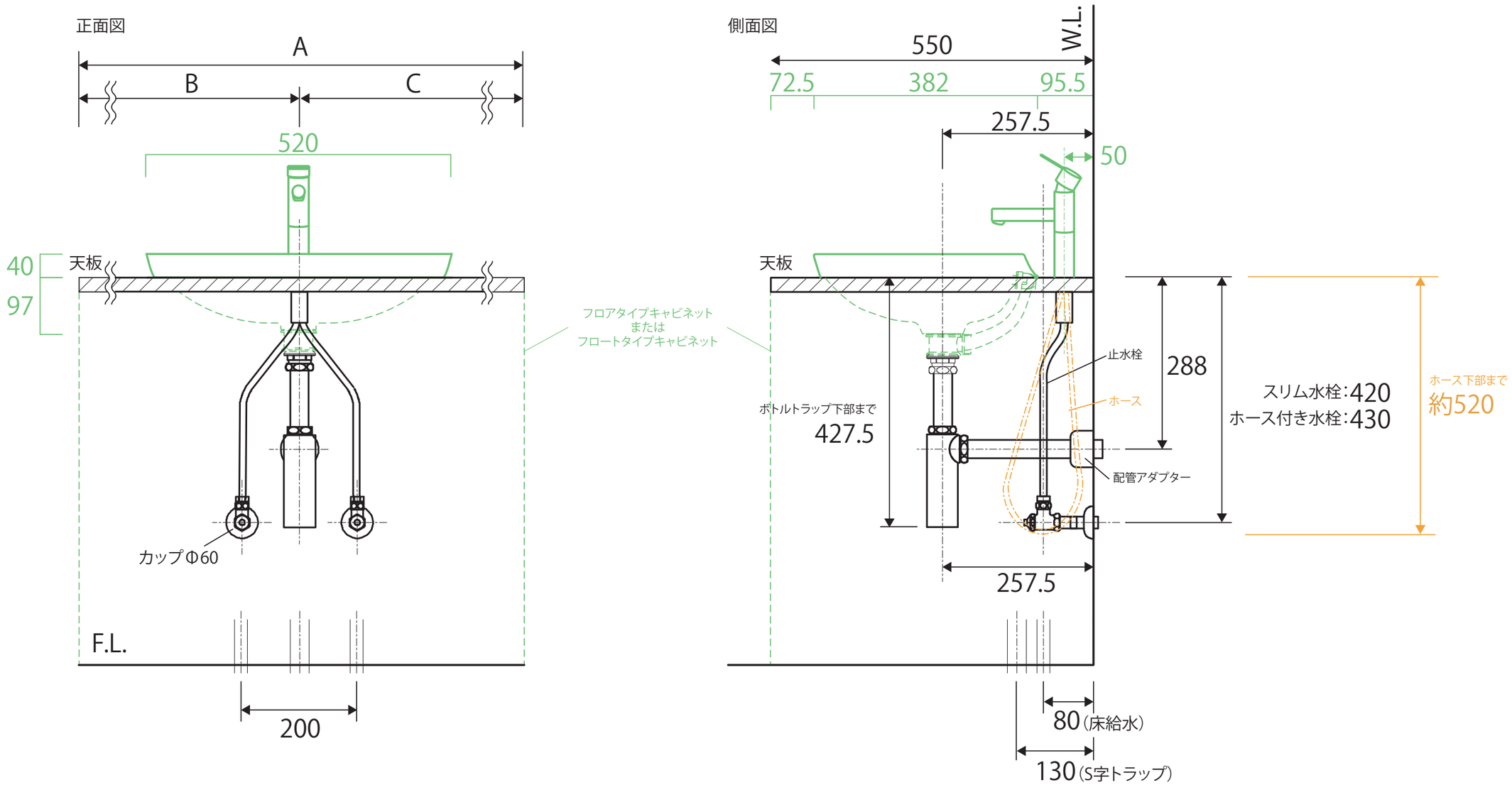
ボウル位置：ダブル

天板幅	A	B	中央ピッチ(水栓間)	C
1500	1500	375	750	375
1650	1650	412.5	825	412.5
1800	1800	450	900	450

給排水位置図　　ボウル種類：Y1 ハーフベッセル（弓型）

2026/07/30

単位：ミリ（mm）



詳細寸法一覧

ボウル位置：センター

天板幅	A	B	C
750	750	375	375
900	900	450	450
1000	1000	500	500

ボウル位置：左寄せ

天板幅	A	B	C
1200	1200	450	750
1350	1350	450	900
1500	1500	375	1125
1650	1650	412.5	1237.5
1800	1800	450	1350

ボウル位置：右寄せ

天板幅	A	B	C
1200	1200	750	450
1350	1350	900	450
1500	1500	1125	375
1650	1650	1237.5	412.5
1800	1800	1350	450

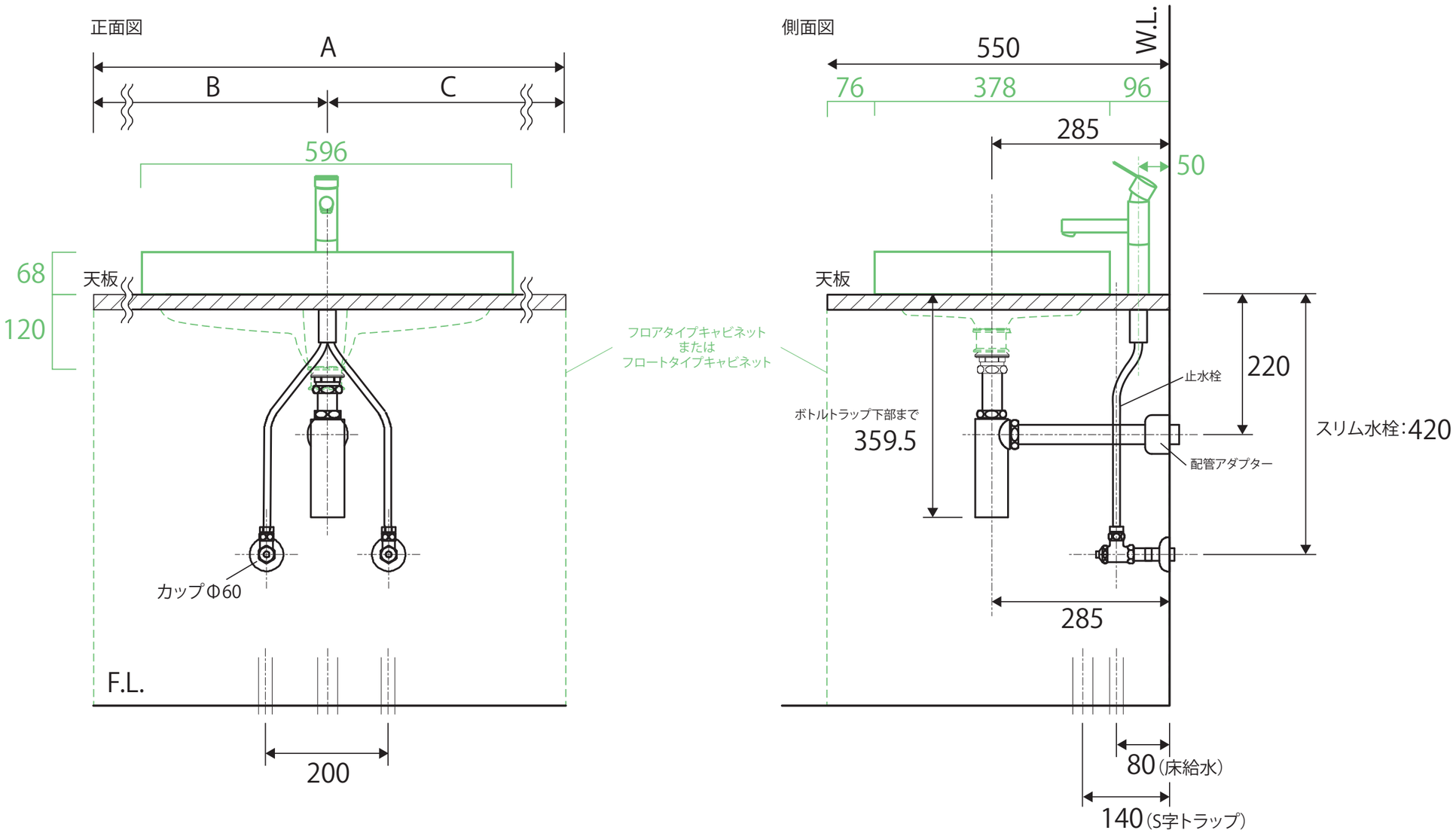
ボウル位置：ダブル

天板幅	A	B	中央ピッチ（水栓間）	C
1500	1500	375	750	375
1650	1650	412.5	825	412.5
1800	1800	450	900	450

給排水位置図　　ボウル種類：(N1) ハーフベッセル(角型)

2026/07/30

単位:ミリ(mm)



詳細寸法一覧

ボウル位置：センター

天板幅	A	B	C
750	750	375	375
900	900	450	450
1000	1000	500	500

ボウル位置：左寄せ

天板幅	A	B	C
1200	1200	450	750
1350	1350	450	900
1500	1500	375	1125
1650	1650	412.5	1237.5
1800	1800	450	1350

ボウル位置：右寄せ

天板幅	A	B	C
1200	1200	750	450
1350	1350	900	450
1500	1500	1125	375
1650	1650	1237.5	412.5
1800	1800	1350	450

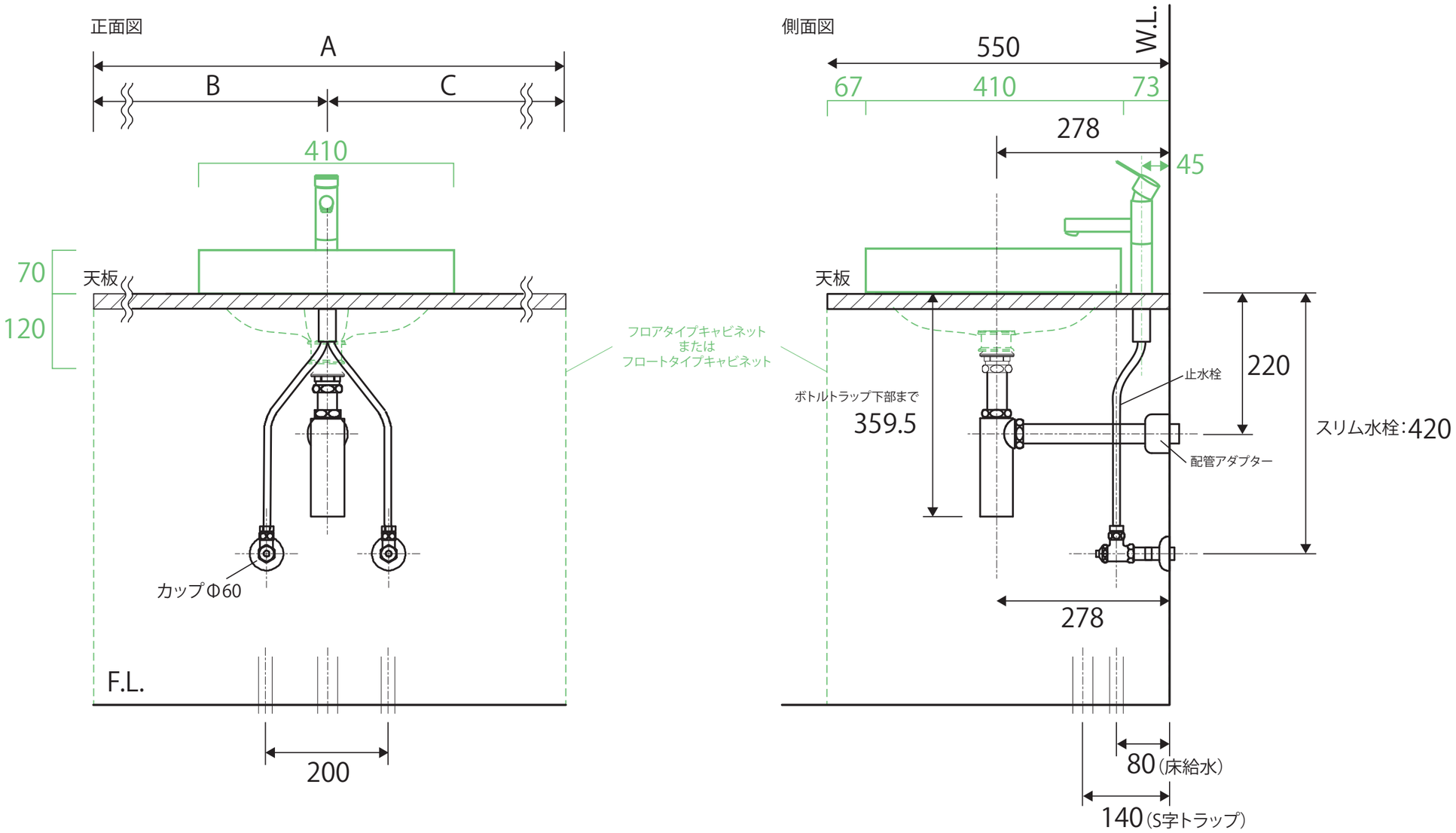
ボウル位置：ダブル

天板幅	A	B	中央ピッチ(水栓間)	C
1500	1500	375	750	375
1650	1650	412.5	825	412.5
1800	1800	450	900	450

給排水位置図　　ボウル種類：(N2) ハーフベッセル（丸型）

2026/07/30

単位：ミリ（mm）



詳細寸法一覧

ボウル位置：センター

天板幅	A	B	C
750	750	375	375
900	900	450	450
1000	1000	500	500

ボウル位置：左寄せ

天板幅	A	B	C
1200	1200	450	750
1350	1350	450	900
1500	1500	375	1125
1650	1650	412.5	1237.5
1800	1800	450	1350

ボウル位置：右寄せ

天板幅	A	B	C
1200	1200	750	450
1350	1350	900	450
1500	1500	1125	375
1650	1650	1237.5	412.5
1800	1800	1350	450

ボウル位置：ダブル

天板幅	A	B	中央ピッチ（水栓間）	C
1500	1500	375	750	375
1650	1650	412.5	825	412.5
1800	1800	450	900	450